



資料編

● 第6章白岡市における文化財の把握・保存・活用に関する課題・方針・取組一覧

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
課題1 各分野の文化財把握に関する課題	基本方針1 文化財を調べる		
・実施されていない調査分野がある。 ・調査精度が低い分野がある。 ・「総合的な把握」の視点が活かされていない。 ・身近な文化財とその継承に関する情報共有ができていない。 ・把握した文化財の目録化が不十分である。 ・市民協働による調査活動の場が少ない。	①未実施の調査分野の調査を推進する。 ②分野ごとの調査精度を高める。 ③「総合的な把握」の手法を活かした調査の推進を図る。 ④身近な文化財に気付き、誇りを持って守り伝える取組を支援する。 ⑤把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化を促進する。 ⑥市民協働での調査活動やワークショップを促進する。	1	仏像・神像調査
		2	建造物調査
		3	漁具・漁撈活動調査
		4	生態系調査
		5	中世資料総合的把握調査
		6	暮らしの中の文化財調査
		7	把握した文化財の情報発信
		8	民具調査・整理
		9	諸家文書調査
		10	古文書整理
		11	文化財保存活用ワークショップの開催
		12	調査報告会の開催
課題2 保存・継承に関する課題	基本方針2 文化財を守り伝える		
(1)文化財の管理と適切な伝承活動 ・所有者（管理者）と文化財の情報を共有し、適切な保存を図る必要がある。 ・文化財を適切に管理する必要がある。 ・活用頻度が高い文化財の保存状態を良好に保つ必要がある。 ・無形の民俗文化財や祭り・行事等の継承が困難になってきている。	①文化財の材質、製法等の基礎情報について、所有者（管理者）と行政との共有化を促進する。 ②文化財の適切な管理に努める。 ③活用頻度の高い文化財については、必要に応じてレプリカを作成する。 ④無形の民俗文化財や祭り・行事等の文化財伝承活動を適切に支援する。	13	文化財の定期的確認作業
		14	文化財保護指導委員の設置
		15	指定文化財管理・修理への補助金交付
		16	指定文化財候補の把握
		17	文化財愛護団体のネットワーク化支援
		18	文化財レプリカの作成
		19	文化財伝承活動の支援
		20	無形の民俗文化財や祭り・行事の記録作成
		21	文化財保存経費への民間資金導入の促進
		22	定期的な地域防犯パトロールの実施
		23	防犯マニュアルの作成
		24	警察との日常的な防犯対策情報交換
(2)文化財に関する防犯・防災活動 ・文化財の防犯体制を築く必要がある。 ・文化財防犯について警察との情報交換体制を整える必要がある。 ・文化財の防災体制を築く必要がある。 ・文化財防火について消防との情報交換体制を整える必要がある。	①地域と協力して適切な文化財の防犯体制を構築する。 ②文化財の防犯について警察との情報交換体制を整備する。 ③地域と協力して適切な文化財の防災体制を構築する。 ④文化財の防火について消防との情報交換体制を整備する。	25	定期的な防犯研修会の実施
		26	災害時の文化財救出マニュアルの整備
		27	定期的な防災訓練の実施
		28	消防団や自主防災組織との連絡会議の創設
		29	民間所蔵文化財の保管状況カルテの作成
		30	非常勤の研究員等の任用制度の創設
		31	市民学芸員制度の創設
		32	文化財保存活用地域計画関連事業庁内勉強会の開催
		33	白岡遺産保存活用市民会議との連携協働
		34	文化財ボランティアの育成
		35	文化財愛護賞の創設
(3)文化財保護のための体制整備 ・誰もが地域研究に取り組むことができる環境を整える必要がある。 ・庁内他部局の理解促進と事業連携を図る必要がある。 ・市内の関係団体や専門家との事業連携を図る必要がある。 ・文化財ボランティア組織が立ち上がっていない。	①開かれた地域研究体制を構築する。 ②文化財保存活用地域計画に関する庁内勉強会や事業連携のテーブルを設け、庁内関係課の理解促進を図る。 ③市内の関係団体や専門家との連携を図る。 ④行政とは全く別な視点から文化財の保存・活用に取組むボランティア組織の育成や連携を促進し、優れた活動を顕彰する。		

取組

取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
1	寺社等を中心に仏像、神像の把握調査を実施する。	○	○	◎	→	→	→
2	主に戦前までを対象にエリアを設定して実施する。	○		◎	→	→	→
3	沼、川、田における漁具、漁撈調査を実施する。	○	○	◎		→	→
4	植物、動物に関するエリアを定めた現状調査を実施する。	○		◎			→
5	金石、考古、文献等の分野横断の総合的把握調査を実施する。	○	○	◎	→	→	→
6	家例、地域の習慣、言い伝え、家宝等に関する調査を実施する。	◎	○	◎			→
7	刊行物の発行、HP等での公表を行う。		○	◎	→	→	→
8	梨栽培用具等に重点を置いた収集、整理を実施する。	○	○	◎	→	→	→
9	申し出に即した調査、収集活動を継続的に実施する。	◎		◎	→	→	→
10	収集した諸家文書の目録作成、翻刻作業等を計画的に実施する。	○		◎	→	→	→
11	文化財保存活用ワークショップを開催し、文化財を調査しながら保存・活用の視点を探る。	◎	○	◎	→	→	→
12	文化財に関する諸調査の報告会を開催し、調査成果の還元を図る。	○		◎	→	→	→
13	所有者（管理者）との連絡調整と保管状況の定期的確認を行い、文化財の材質、製法等の基礎情報を把握する。	◎	○	◎	→	→	→
14	文化財保護指導委員会を委嘱し、巡視や相談活動を実施する。	○		◎			→
15	指定文化財の現状把握と適切な保護措置をとる。	◎	◎	◎	→	→	→
16	指定文化財候補の把握と所有者との情報交換を図る。	○	◎	◎	→	→	→
17	愛護団体、学習団体等の横のつながりの強化を図る。	○	◎	◎	→	→	→
18	絵図、古文書等の脆弱資料と活用頻度の高い資料のレプリカを作成する。	○	○	◎			→
19	無形文化財等の伝承活動の適切な支援を図る。	○	◎	◎	→	→	→
20	映像記録を作成する。		◎	◎			→
21	地域企業等を巻き込んだ保護活動の実現に努める。	○	◎	◎			→
22	防犯パトロールを体系化し、文化財ボランティア等による巡視活動を実施する。	○	○	◎			→
23	地域と連携した防犯マニュアルを作成する。	○	○	◎		→	→
24	警察と情報共有するための定例的な防犯対策会議を開催する。	○	○	◎		→	→
25	防犯研修会を開催する。	○	○	◎			→
26	地域と連携した文化財防災、救出マニュアルを整備する。	○	○	◎		→	→
27	文化財防火デーの活動を強化する。	◎	◎	◎	→	→	→
28	消防団や自主防災組織との情報共有を促進する。	◎	◎	◎			→
29	文化財保管状況をカルテ化し消防との情報共有を図る。	○	○	◎		→	→
30	地域研究スタッフの確保と地域研究の促進を図る。			◎			→
31	市民学芸員の育成を通して、生涯学習としての学びの支援と地域研究の促進を図る。	○		◎			→
32	行政内部の理解を促進し、事業連携や協働事業の取組を進める。		○	◎			→
33	市内の文化財の保存活用を行う民間団体と連携し、地域の文化財の魅力や地域ブランドを高め、文化財を次世代へ繋ぐための取組を進める。	◎	◎	◎	→	→	→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎	→	→	→
35	文化財の保存活用に貢献した個人や団体を顕彰し、文化財愛護やふるさと作りの意識の醸成を図る。	◎	◎	◎			→

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
課題3 情報発信・普及活動に関する課題	基本方針3 文化財を知る		
- 文化財調査成果について、未公開のものがある。 - 理解しやすく親しみやすい文化財情報の発信が不十分である。 - 文化財情報のデータベース化が不十分である。 - 学校教育での活用が進まない。 - 講座の内容が固定化してしまっている。 - 専用ホームページがなく、情報発信の範囲や即時性に限界がある。 - 文化財に関するイベントが固定化してしまっている。	①文化財調査成果の速やかな公開に努める。	36	文化財調査報告書の刊行
	②理解しやすく親しみやすい文化財情報の発信を進める。	37	歴史資料館紀要の充実
		38	普及用刊行物の計画的発行
		39	文化財データベースの構築
	③文化財情報のデータベース化を図る。	40	学校と連携した教材研究の促進
		41	学校貸し出しバックの作成
		42	夏休み自由研究展の開催
	④学校との連携強化を図る。	43	多様なニーズに即した講座の開催
		44	職員出前講座の活用促進
		45	企画展示・季節展示の充実
	⑤文化財関連講座の充実に努める。	46	ホームページの充実
		47	WEBミュージアムの構築
	⑥WEBを活用した情報発信を促進する。	48	文化財保護フォーラムの定期的開催
		49	文化財解説板の設置・改修
	⑦文化財を活用した様々なイベント開催を促す。	50	文化財普及グッズの開発
		51	ユニークバニユアの促進
		52	文化財周遊コースの設定
		53	周遊コースのセルフガイドの発行
課題4 市民との連携・協働に関する課題	基本方針4 文化財をともに支える		
- 地域の伝統行事の魅力が埋もれてしまっている。 - 地域の行事への有効な支援策が講じられていない。 - 行政、地域住民、地元企業それぞれの活動が連動しておらず、効果が上がらない。 - 文化財保存活動の担い手が不足している。	①特色ある地域の伝統行事の発掘に努める。	54	白岡遺産制度の登録促進
	②地域の行事を地域で支える仕組み作りを促進する。	55	白岡遺産普及啓発イベントの開催
		56	白岡遺産パンフレットの作成
	③担い手同士のネットワーク化を推進する。	57	白岡遺産への民間資金導入促進
		58	白岡遺産の支援協力体制の整備
	④文化財の保存活動を周囲から支える仕組み作りを促進する。	59	「ちょボラ」活動の推進
		60	近隣市町における文化財愛護団体同士の交流促進

取組

取組							
取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
36	埋蔵文化財、民具、諸家文書等の調査報告書の刊行を促進する。			◎	→	→	→
37	市の歴史文化に関する調査研究活動の成果発表を促進する。			◎	→	→	→
38	様々な視点から文化財を捉えた普及用資料を刊行する。			◎	→	→	→
39	情報の一元管理を進めるとともに、利用者の便を図る。			◎	→	→	→
40	歴史学習支援事業の充実と教職員と連携した教材研究を促進する。			◎	→	→	→
41	教材として貸し出し、活かした文化財に触れる機会の創出に努める。			◎	→	→	→
42	地域の文化財を題材とした児童生徒の自由研究の成果発表を促す。			◎	→	→	→
43	ニーズに応える生涯学習講座等の実施に努める。	○		◎	→	→	→
44	市民団体の学集会への講師派遣の充実を図る。		◎	◎	→	→	→
45	魅力ある展示やタイアップ事業を実施する。			◎	→	→	→
46	歴史資料館の活動や文化財の情報発信を充実させる。			◎	→	→	→
47	常設展示を補完するとともに、関連文化財群のガイダンスを実施する。	○		◎	→	→	→
48	有識者の提案や市民の声を聞く機会として定期的なフォーラムを開催する。	○	○	◎	→	→	→
49	寺社や文化財及び関連文化財群の解説板、標柱の設置を促進する。		◎	◎	→	→	→
50	文化財をデザインしたグッズ等を使った普及活動を促進する。		◎	◎	→	→	→
51	社寺等を会場として活用した文化財啓発に資する様々なイベントの開催を支援する。	◎	○	◎	→	→	→
52	モデルコースを作成し、これに沿った施設整備を推進する。		○	◎	→	→	→
53	関連文化財群を歩いて楽しめるガイドマップを発行する。		○	◎	→	→	→
54	白岡遺産制度に基づく白岡遺産の登録を促進する。	◎	◎	◎	→	→	→
55	白岡遺産一斉公開等の取組の実施を促進する。	◎	◎	◎	→	→	→
56	白岡遺産パンフレットを作成する。			◎	→	→	→
57	白岡遺産への民間資金導入促進に努める。	○	◎	◎	→	→	→
58	白岡遺産の支援協力体制の整備を推進する。	◎	◎	◎	→	→	→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎	→	→	→
60	近隣市町における文化財愛護団体同士の交流を促進する。	○	◎	◎	→	→	→

● 第7章白岡市における関連文化財群保存・活用に関する課題・方針・取組一覧

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
関連文化財群1 鎌倉街道と幻の川「日川」			
・中世寺社、中世遺跡、鎌倉街道、日川等、文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ストーリーを用いた文化財の活用が不十分で、地域おこしを行う余地がある。	基本方針1 ・中世寺社、中世遺跡、鎌倉街道、日川等の総合的把握に努める。	1	仏像・神像調査(再掲)
		2	建造物調査(再掲)
		5	中世資料総合的把握調査(再掲)
		61	「日川」に関する総合的把握調査
		62	「鎌倉街道」に関する総合的把握調査
		63	正傳寺所蔵資料調査
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	64	仏像・神像の保存処理・修繕
		65	幻の川「日川」学習会
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
		66	「日川」の恵み情報発信事業
	基本方針4 ・地域の関心を高め、関連文化財群を、ともに守り伝える意識の醸成に努める。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
	ストーリー固有の方針 ・市域東部の商工・観光の振興施策のひとつとして、官民一体となった地域おこし手法の検討、導入に努める。	67	「大徳寺縁起」の普及
		68	中世寺社巡り御朱印帳の発行
関連文化財群2 二つの川筋を背景に勢力を伸ばした鬼窪氏			
・篠津・白岡地域の文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ストーリーを用いた文化財の活用が不十分で、地域おこしを行う余地がある。	基本方針1 ・篠津、白岡地域の歴史的事象や文化財の総合的把握に努める。	5	中世資料総合的把握調査(再掲)
		9	諸家文書調査(再掲)
		69	鉄生産関連遺跡の調査研究
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	70	中世遺跡出土資料の保存
		71	興善寺中世石造物群の適切な保存
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	43	多様なニーズに即した講座の開催(再掲)
		49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
	基本方針4 ・市民の心の拠りどころとなる関連文化財群に一層磨きをかけ、地域の歴史文化に誇りを持つ市民意識の醸成に努める。	53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
		34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
		72	鬼窪氏顕彰の仕組み作り
		73	「観応の擾乱」時の入耕地館の再現

取組

取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
1	寺社等を中心に仏像、神像の把握調査を実施する。	○	○	◎	→	→	→
2	忠恩寺山門他の調査を実施する。	○		◎	→	→	→
5	金石、考古、文献等の分野横断の総合的把握調査を実施する。	○	○	◎		→	→
61	流域市町を含め、「日川」に関する情報を集積し歴史的評価の見直しを図る。	○	○	◎			→
62	沿線自治体を含め「鎌倉街道中道」に関する情報を集約し、市域の路線や沿線の情報を整備したマップを作成する。	○	○	◎			→
63	太田氏房の庇護を受けた正傳寺に関する情報を集積し歴史的評価の見直しを図る。			◎			→
64	大徳寺大日如来の仏手の保存処理を実施する。			◎		→	→
65	古代埼玉郡域を東西に分ける旧大河について多角的に学ぶ機会を提供する。	○	○	◎			→
49	寺社や文化財、関連文化財群の解説板、標柱を設置する。		◎	◎	→	→	→
52	鎌倉街道を歩いて楽しめるコースを設定する。		○	◎	→	→	→
53	ガイドマップの発行、案内表示の設置を行う。		○	◎	→	→	→
66	時代を超えた「日川」の恵みに関する情報を集め市の特徴のひとつとしてアピールする。	◎	◎	◎			→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎	→	→	→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎		→	→
67	「大徳寺縁起」を核として、鎌倉街道や寺社その他のエピソードをマンガ化し、ストーリー性を強調する。		◎	◎			
68	中世起源の寺社の連携を促し、特徴のある御朱印の押印を行う。		◎	◎			→
5	鬼窪氏に関連する金石、考古、文献等の分野横断の総合的把握調査を実施する。	○	○	◎	→	→	→
9	名主、村役人の家の古文書等に関する詳細調査を行う。	◎		◎	→	→	→
69	中妻遺跡、タタラ山遺跡のほか、木炭窯跡が検出された遺跡等をの詳細を確認するとともに、鉄滓や鍛造剥片の成分分析等の実施や近隣製鉄遺跡との対比を行う。			◎	→	→	→
70	中妻遺跡や入耕地遺跡等の中世遺跡出土資料、特に鉄製品等の適切な保存を行う。			◎	→	→	→
71	興善寺と協働で、残欠の多い中世石造物群の散逸を防止し適切な保存管理を行う。		◎	◎			→
43	篠津の天王様や中妻遺跡など様々な角度からの生涯学習講座を開設する。	○		◎	→	→	→
49	寺社や文化財及び関連文化財群の解説板、標柱を設置する。		◎	◎	→	→	→
52	鬼窪氏関連文化財群を歩いて楽しめるコースを設定する。		○	◎	→	→	→
53	ガイドマップの発行、案内表示の設置を行う。		○	◎	→	→	→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎	→	→	→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎		→	→
72	名前のわかる一族のキャラクターを作成し普及活動のマスコットに使う等、鬼窪氏の積極的PRを実施する。	○	◎	◎			→
73	高麗経澄軍忠状に見える鬼窪での旗揚げの様子ジオラマを作成し、展示する。			◎			

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
関連文化財群3 新田開発と川の立体交差			
・近世の新田開発や水害、水争いに関する文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ストーリーの啓発手法の開発が必要である。	基本方針1 ・近世の新田開発や水害、水争いに関する総合的把握に努める。	2	建造物調査(再掲)
		9	諸家文書調査(再掲)
		10	古文書整理(再掲)
		74	河川用排水路の築造、改修等に関する情報の整理
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	75	橋、堰、坎樋その他の河川構造物の把握調査
		76	水争裁許絵図や柴山沼関係の絵図などの適切な管理
		77	庄兵衛堰杵の管理
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	43	多様なニーズに即した講座の開催(再掲)
		49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
	基本方針4 ・地域の関心を高め、関連文化財群をともに守り伝える意識の醸成に努める。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
	ストーリー固有の方針 ・市観光協会と連携し、「川の立体交差」を観光資源として活用した多様な啓発手法の検討、導入に努める。	78	「絵図展」の開催
		79	他のストーリーとの橋渡し役としての仕組み作り
関連文化財群4 水の災いを恵みに換える暮らしの知恵			
・柴山沼をめぐる暮らしと文化に関する文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ストーリーの啓発手法の開発が必要である。	基本方針1 ・柴山沼をめぐる暮らしと文化に関する文化財の総合的把握に努める。	3	漁具・漁撈活動調査(再掲)
		8	民具調査・整理(再掲)
		80	柴山沼・元荒川等水辺環境の現状調査
		81	水塚群総合的把握調査
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	82	橋戸地区歴史文化総合的把握調査
		83	旧大山尋常高等小学校校舎の復元整備
		43	多様なニーズに即した講座の開催(再掲)
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
	基本方針4 ・地域の関心を高め、関連文化財群をともに守り伝える意識の醸成に努める。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
	ストーリー固有の方針 ・個性的な特徴を持つ文化財群の多い地域特性を活かし、官民一体となって文化財の持つ魅力を最大限に引き出し、地域の活性化につながる多様な啓発手法の検討を進める。	84	復元整備した木造校舎を使ったフィルムコミッションの推進
		85	用水路を使ったカイボリ体験
		86	柴山沼での投網漁体験

取組

取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
2	水塚及び塚上のクラの調査を進める。	○		◎			→
9	鬼久保家、富士庫家、細井昇家、澁谷園彦家文書等の情報整理を実施する。	◎		◎			→
10	情報整理した諸家文書の翻刻作業等を計画的に実施する。	○		◎			→
74	市内外の古文書、文献等から必要な情報の収集整理を行い、河川水路に関するデータベースを作成する。			◎			→
75	橋や堰、臼樋その他について河川ごとに把握する。			◎			→
76	絵図に必要な修理、レプリカの製作を行う。	◎		◎			→
77	堰枠内に堆積した土砂の浚渫やレンガの劣化防止措置を行う。	◎	◎	◎			→
43	新田開発と排水路網、水害と水塚等の水の恵みに関するワークショップや学習会を開催する。	○		◎			→
49	川の立体交差点点には既に解説板を設置しているが、コース案内や、関連文化財群に解説板等を設置する。		◎	◎			→
52	川の立体交差を歩いて楽しめるコースを設定する。		○	◎			→
53	ガイドマップの発行、案内表示の設置を行う。		○	◎			→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎			→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎			→
78	歴史資料館の企画展として水争いや、沼絵図、耕地の絵図などの展覧会を開催し理解を深める。	○		◎			
79	関連文化財が市域全域に広がる特性を活かし、ストーリー相互のネットワーク化のハブとする。		○	◎			→
3	柴山沼、皿沼、元荒川、星川その他の水路等で行われてきた漁撈活動、漁具等の総合的把握調査を促進する。	○	○	◎			→
8	特産の梨栽培用具について引き続き調査を進める。	○	○	◎			→
80	漁撈活動との関係を主眼とした生態系調査を実施する。	○		◎			→
81	塚、塚上の建物、水塚に関する伝承等の総合的把握調査を実施する。	○		◎			→
82	見沼通船物資積み替え基地として栄えた橋戸地区の歴史文化の総合的把握調査を行う。	○	○	◎			→
83	市内に残る唯一の木造学校建築物として復元整備する。		○	◎			→
43	柴山沼や橋戸地区の歴史に関する生涯学習講座を開講する。	○		◎			→
49	コース案内や、関連文化財群の解説板等を設置する。		◎	◎			→
52	柴山伏越や水塚、柴山沼などバラエティに富んだ歴史文化を楽しむことのできるコース設定を行う。		○	◎			→
53	ガイドマップの発行、案内表示の設置を行う。		○	◎			→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎			→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎			→
84	フィルムコミッションを立ち上げ、木造校舎を使った映画撮影等への活用を図る。		◎	◎			→
85	水を落とした秋に実施していた「カイボリ」の体験会を実施する。	○	◎	◎			→
86	揚げ舟での投網漁の実演と簡単な体験会を実施する。	○	◎	◎			

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
関連文化財群5 領地・領民を想う新井白石と領主を慕う村人			
・新井白石とその関連文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ユニークペニユーの導入や積極的情報発信等、地元の文化財愛護活動の取組支援強化が必要である。	基本方針1 ・新井白石とその関連文化財群の総合的把握に努める。	9	諸家文書調査(再掲)
		10	古文書整理(再掲)
		87	矢部家「折たく柴 (の記)」の来歴調査
		88	「紙本着色新井白石画像」の科学的分析
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	77	庄兵衛堰杵の管理(再掲)
		89	大久保家「北条氏繁判物」の保存活用
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	43	多様なニーズに即した講座の開催(再掲)
		49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
	基本方針4 ・市民とともに新井白石の事績顕彰と関連文化財群の保存活用を図る。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
		90	野牛文化財愛護会の活動支援
		91	筑後様まつりの支援
		92	朝鮮通信使の末裔との交流会
	ストーリー固有の方針 ・地域の文化財愛護組織や学校等、多様な団体と連携し、ユニークペニユーの積極的導入を図り、文化財の普及・活用と地域づくりを促進する。	93	白石関連グッズの作成
		94	白石ゆかりの地域との交流会
		95	鶴岡市藤沢周平記念館との交流展
関連文化財群6 篠津宿の賑わいを支えたもの			
・篠津宿の文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・調査成果の整理が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・ストーリーの啓発手法の開発が必要である。	基本方針1 ・篠津宿に関する文化財群の総合的把握に努める。 ・これまで蓄積してきた古文書や聞き取りデータの体系的な再整理を行う。	8	民具調査・整理(再掲)
		9	諸家文書調査(再掲)
		10	古文書整理(再掲)
		96	篠津天王様の山車及び篠津久伊豆神社社殿彫刻等詳細調査
		97	立川金禄作品の所在確認調査
	基本方針2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	98	篠津久伊豆神社社殿彫刻の保存
		99	篠津天王様の山車・神輿模型作成
	基本方針3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	43	多様なニーズに即した講座の開催(再掲)
		49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	文化財周遊コースの設定(再掲)
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
		100	遊びの中で文化財に親しむ企画の検討
	基本方針4 ・地域の文化財の保存組織と連携しながら、地域の関心を高め、関連文化財群とともに守り伝える意識の醸成に努める。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
	ストーリー固有の方針 ・規模の大きな祭礼を擁している。地域住民や文化財愛護団体と連携しながら、文化財の持つ魅力を最大限に引き出し、地域の活性化につながる多様な啓発手法の検討を進める。	101	興善寺の豆まきの支援
		102	生涯学習講座「大野塾で使われた教材で勉強してみよう」の開催

取 組							
取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
9	新井白石関連文化財のさらなる掘り起こしを行うとともに、既存資料の白石とのつながりについての再確認を行う。	◎		◎	→		→
10	大久保家文書等確認済み資料の翻刻作業等を促進する。	○		◎	→		→
87	筆写元や筆者時期等の詳細調査を実施する。	○		◎		→	→
88	料紙や絵具等に関する科学的分析によって、絵師等に関する情報の収集の一助にするとともに、保存上の注意点などの確認を行う。			◎			→
77	堰枠内に堆積した土砂の浸食やレンガの劣化防止措置を行う。	◎	◎	◎		→	→
89	市内に残る数少ない中世文書「北条氏繁判物」の修繕及び活用のためレプリカを製作する。	○		◎	→		→
43	新井白石の事績や、野牛とのつながりなどに関するワークショップや学習会を開催する。	○		◎	→		→
49	新井白石関連文化財には既に解説板を設置しているが、コース案内や関連文化財群の解説板等を設置する。		◎	◎	→		→
52	関連文化財群を歩いて楽しめるコースを設定する。		○	◎	→		→
53	ガイドマップの発行、案内表示を設置する。		○	◎	→		→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎	→		→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎		→	→
90	筑後様まつりをはじめとする地域活動を支援する。	○	◎	◎	→		→
91	筑後様まつりにおける児童生徒の参加やユニークベニユーの導入を支援する。	○	◎	◎	→		→
92	正徳の通信使の末裔との交流事業を実施する。			◎			
93	肖像画を用いたグッズを作成し、普及と販売益による文化財保存費用の積み立てを行う。		◎	◎			→
94	新井家の所領であった村を持つ自治体や白石ゆかりの地域を結んだ交流事業を行う。		◎	◎			→
95	白石を主人公とした「市塵」の著者である藤沢周平の遺稿等を所蔵する記念館との交流展示等の企画及びタイアップ事業を実施する。		◎	◎	→		→
8	梨栽培用具及び水田・畑作用具について引き続き調査を進める。	○	○	◎	→		→
9	名主、村役人格の家の文書を中心に、諸家文書の再確認を行う。	◎		◎	→		→
10	収集済み、確認済み資料の翻刻作業等を促進する。	○		◎	→		→
96	山車と社殿の構造と、そこに彫られた彫刻群の詳細調査を実施する。	○		◎		→	→
97	立川金禄作品の現状調査と作品図録を作成する。	◎	◎	◎			→
98	篠津久伊豆神社社殿彫刻の保存処理を行う。			◎			
99	詳細調査に基づいて山車と神輿の模型を作成する。			◎			
43	篠津の天王様や中妻遺跡等の様々な角度から見た生涯学習講座を開講する。	○		◎	→		→
49	コース案内や関連文化財群の解説板等を設置する。		◎	◎	→		→
52	篠津・白岡地区のバラエティに富んだ歴史文化を楽しむことのできるコースを設定する。		○	◎	→		→
53	ガイドマップの発行、案内表示を設置する。		○	◎	→		→
100	篠津久伊豆神社や白岡八幡宮等の奉納絵馬をカード化し、ルールを定めたカードゲームを制作し大会を開催する。	○	○	◎			
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎	→		→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎		→	→
101	「鬼はこ随意」という掛け声の豆まきのPRとユニークベニユーの導入を促進する。	○	◎	◎		→	→
102	四書五経や庭訓往来などを使った「読み書き」の講座を開催する。	○		◎			

課 題	方 針	取 組	
		取組名	
関連文化財群7 小久喜さら獅子舞の伝統と獅子舞を支える気風			
・小久喜さら獅子舞とその関連文化財同士を関連付けた調査と検討が不十分である。 ・各文化財の適切な修繕や保存処理を行う必要がある。 ・関連文化財群をテーマとした学習機会が不足している。 ・地域と協働して関連文化財群を守る取組が不十分である。 ・市内小学校において、継続的な指導が行われるような環境の整備が必要である。 ・ストーリーの啓発手法の開発が必要である。	基本方針1 ・小久喜さら獅子舞とその関連文化財群の総合的把握に努める。	6	暮らしの中の文化財調査（再掲）
	基本方針 2 ・各文化財の適切な修繕、保存処理を進める。	9	諸家文書調査（再掲）
		10	古文書整理（再掲）
	基本方針 3 ・関連文化財群に関する学習機会の提供に努める。	19	文化財伝承活動の支援（再掲）
		20	無形文化財や祭り・行事の記録作成（再掲）
		43	多様なニーズに即した講座の開催（再掲）
		49	文化財解説板の設置・改修(再掲)
		52	関連文化財群周遊コースの設定（再掲）
		53	周遊コースのセルフガイドの発行(再掲)
		103	獅子舞に関する情報発信
	基本方針 4 ・地域の関心を高め、関連文化財群をともに守り伝える意識の醸成に努める。	34	文化財ボランティアの育成(再掲)
		59	「ちょボラ」活動の推進(再掲)
	ストーリー固有の方針 ・保存団体や小学校と連携しながら、祭礼を持続可能なものとするように努める。 ・地域の活性化につながる多様な啓発手法の検討を進める。	104	後継者育成のための環境整備
105		獅子舞関連グッズの作成	

取組

取組							
取組概要		取組主体			取組期間		
		市民	地域	行政	前期 R8～10	中期 R11～14	後期 R15～17
6	獅子舞に関する伝承や習俗についての聴き取り調査を実施する。	◎	○	◎			→
9	獅子舞関連資料の掘り起こしと再確認を行う。	◎		◎			→
10	残された記録類の整理を行う。	○		◎			→
19	獅子舞の伝承活動の適切な支援を図る。	○	◎	◎			→
20	舞の所作や笛の音程等を正しく記録するため、動画を撮影し、映像記録を作成する。		◎	◎			→
43	小久喜さら獅子舞の歴史や所作等に関するワークショップや学習会を開催する。	○		◎			→
49	小久喜久伊豆神社には既に解説板を設置しているが、コース案内や、関連文化財群の解説板等を設置する。		◎	◎			→
52	関連文化財群を歩いて楽しめるコースを設定する。		○	◎			→
53	ガイドマップの発行、案内表示の設置を行う。		○	◎			→
103	行事や演目に関する解説資料の配布や、電子媒体による情報を発信する。	◎	◎	◎			→
34	文化財や白岡遺産のガイドや管理活動に関するボランティアを育成する。	◎	◎	◎			→
59	自治会等と協力して、定期的な美化活動等に合わせた「ちょっとしたボランティア」活動を推進し、コース整備等を市民の手で行う。	◎	◎	◎			→
104	市内小学校の活動にあたり、笛や獅子頭等の道具を揃えるとともに、練習用の記録音声や動画を作成し練習環境を整える。	◎	◎	◎			→
105	獅子舞のグッズ作成やお祭りゆかりの小麦まんじゅうの販売等を行う。	◎	◎	◎			→

● 第1章2(4)生態系 ①植生・植物 ひこべえの森で見られる植物一覧

No	科	標準和名	備考	No	科	標準和名	備考
1	マツ科	アカマツ		51	バラ科	ヘビイチゴ	
2	ヒノキ科	ヒノキ		52		ビワ	
3		スギ		53	マメ科	ネムノキ	
4	カバノキ科	アカシデ		54		クズ	
5		イヌシデ		55		カラスノエンドウ	
6	ブナ科	クヌギ		56		ヌスビトハギ	
7		グリ		57		ヤブマメ	
8		コナラ		58		ツルマメ	
9		シラカシ		59		ヤマフジ	
10	アサ科	エノキ		60		ゲンゲ	
11		ムクノキ		61	カタバミ科	カタバミ	
12		カナムグラ		62	トウダイグサ科	アカメガシワ	
13	ニレ科	ケヤキ		63		トウダイグサ	
14	クワ科	ヒメコウゾ		64		エノキグサ	
15		クワクサ		65		コニシキンソウ	
16	イラクサ科	ヤブマオ		66	ユズリハ科	ユズリハ	
17	タデ科	イヌタデ		67	ミカン科	サンショウ	
18		ミズヒキ		68	ウルシ科	ヌルデ	
19		スイバ		69	モチノキ科	イヌツゲ	
20		ギンギシ		70	ニシキギ科	コマユミ	
21	ナデシコ科	ハコベ		71		ツルウメモドキ	
22		ウシハコベ		72	ミツバウツギ科	ゴンズイ	
23		ノミノフスマ		73	ブドウ科	ツタ(ナツツタ)	
24		オランダミナグサ		74		ノブドウ	
25	モチノキ科	アオハダ		75		ヤブガラシ	
26	マツバサ科	サネカズラ		76	スミレ科	タチツボスミレ	
27	モクレン科	コブシ		77		アカネスミレ	
28	クスノキ科	クスノキ		78		ツボスミレ	
29		シロダモ		79	ウリ科	アマチャヅル	
30		ヤマコウバシ		80		カラスウリ	
31		タブノキ		81	キョウチクトウ科	テイカカズラ	
32	アケビ科	アケビ		82	アカネ科	アカネ	
33	ツツラフジ科	アオツツラフジ		83		ヘクソカズラ	
34	ドクダミ科	ドクダミ		84		ヤエムグラ	
35	センリョウ科	センリョウ		85	キツネノマゴ科	キツネノマゴ	
36		フタリシズカ		86	オオハコ科	オオハコ	
37	ツバキ科	チャノキ		87		オオイヌノフグリ	
38		ヤブツバキ		88		タチイヌノフグリ	
39	モッコク科	ヒサカキ		89	ガリア科	アオキ	
40	ケシ科	ムラサキケマン		90	ミズキ科	ミズキ	
41	アブラナ科	タネツケバナ		91	ウコギ科	ウド	
42		イヌガラシ		92		カクレミノ	
43		ナズナ		93		タラノキ	
44	アジサイ科	ガクアジサイ	植栽	94		ヤツデ	
45	バラ科	ウワミズザクラ		95		キツタ	
46		イヌザクラ		96		チドメグサ	
47		ヤマザクラ		97	セリ科	オヤブジラミ	
48		クサボケ		98		セリ	
49		カマツカ		99		ヤブニンジン	
50		ノイバラ		100	カキノキ科	カキノキ	

No	科	標準和名	備考	No	科	標準和名	備考
101	エゴノキ科	エゴノキ		140	キク科	ヨメナ	
102	モクセイ科	ネズミモチ		141	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	
103	サクラソウ科	カラタチバナ		142		ニガカシュウ	
104		マンリョウ		143	ヒガンバナ科	スイセン	植栽
105		ヤブコウジ		144		ヒガンバナ	
106		コナスビ		145	ネギ科	ノビル	
107	ムラサキ科	キュウリグサ		146	キジカクシ科	コバギボウシ	
108	シソ科	クサギ		147		ジャノヒゲ	
109		ヤブムラサキ		148		ツルボ	
110		ホトケノザ		149		ヤブラン	
111		ヒメオドリコソウ		150	シオデ科	タチシオデ	
112	ハエドクソウ科	トキワハゼ		151	ユリ科	カタクリ	NT・播種
113		ムラサキサギゴケ		152	サルトリイバラ科	サルトリイバラ	
114	ナス科	ヒヨドリジョウゴ		153	イヌサフラン科	ホウチャクソウ	
115		アメリカイヌホオズキ		154	ラン科	シュンラン	NT
116	スイカズラ科	スイカズラ		155	ツユクサ科	ツユクサ	
117		ウグイスカグラ		156		ヤブミョウガ	
118		ニワトコ		157	イネ科	アズマネザサ	
119	ガマズミ科	ガマズミ		158		イヌムギ	
120	キク科	オオジシバリ		159		オヒシバ	
121		オニタビラコ		160		メヒシバ	
122		コオニタビラコ		161		アキノエノコログサ	
123		オオアレチノギク		162		イヌビエ	
124		コセンダングサ		163		ノカリヤス	
125		セイヨウタンポポ		164		コメヒシバ	
126		カントウタンポポ		165		エノコログサ	
127		セイタカアワダチソウ		166		スズメノカタビラ	
128		ツワブキ	植栽	167		スズメノテッポウ	
129		ノゲシ		168		チヂミザサ	
130		ノハラアザミ		169		モウソウチク	
131		ノボロギク		170	ヤシ科	シュロ	
132		ハキダメギク		171	サトイモ科	ウラシマソウ	
133		ハハコグサ		172	カヤツリグサ科	ヒメカンスゲ	
134		ハルジオン		173	ショウガ科	ミョウガ	
135		ヒメジョオン		174	ゼンマイ科	ゼンマイ	
136		ヒメムカシヨモギ		175	ホウライシダ科	ヒメミズワラビ	
137		タカサブロウ		176	ハナヤスリ科	フユノハナワラビ	
138		ブタクサ		177	コバノイシカグマ科	ワラビ	
139		ヨモギ		178	イワデンダ科	イヌワラビ	

*NT：準絶滅危惧（カテゴリー評価は『埼玉県の希少野生生物植物編植物編 2024』による。）

● 第1章2(4)生態系 ③鳥類 白岡市内で確認されたことのある鳥類一覧

No	種	標準和名	確認地	摘要	No	種	標準和名	確認地	摘要
1	キジ科	キジ	ひこべえの森		39	カワセミ科	カワセミ	運動公園	
2		コジュケイ	ひこべえの森		40	キツツキ科	コゲラ	ひこべえの森	
3	カモ科	コハクチョウ	柴山沼	NT1	41		アカゲラ	ひこべえの森	
4		ヒドリガモ	元荒川		42	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	ひこべえの森	NT2
5		マガモ	元荒川		43	モズ科	モズ	ひこべえの森	
6		カルガモ	元荒川		44	カラス科	カケス	ひこべえの森	
7		ハシビロガモ	元荒川		45		オナガ	ひこべえの森	
8		オナガガモ	元荒川		46		コクマルガラス	柴山沼	
9		コガモ	元荒川		47		ミヤマガラス	柴山沼	
10	カイツブリ科	カイツブリ	柴山沼		48		ハシボソガラス	柴山沼	
11		カンムリカイツブリ	柴山沼	VU	49		ハシブトガラス	柴山沼	
12	ハト科	キジバト	ひこべえの森		50	シジュウカラ科	コガラ	ひこべえの森	NT2
13		シラコバト	高岩	EN 国天	51		ヤマガラ	ひこべえの森	
14		カワラバト(ドバト)	運動公園		52		シジュウカラ	ひこべえの森	
15	ウ科	カワウ	運動公園		53	ヒバリ科	ヒバリ	ひこべえの森	
16	サギ科	ゴイサギ	運動公園		54	ツバメ科	ツバメ	ひこべえの森	
17		アオサギ	柴山沼		55	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	ひこべえの森	
18		ダイサギ	柴山沼		56	ウグイス科	ウグイス	ひこべえの森	
19		チュウサギ	柴山沼	VU	57	エナガ科	エナガ	ひこべえの森	
20		コサギ	柴山沼	NT2	58	メジロ科	メジロ	ひこべえの森	
21	クイナ科	バン	柴山沼	NT2	59	チメドリ科	ガビチョウ	ひこべえの森	外来
22		オオバン	柴山沼	NT1	60	ヨシキリ科	オオヨシキリ	運動公園	NT2
23	カッコー科	ホトギス	八幡宮		61	ムクドリ科	ムクドリ	ひこべえの森	
24		カッコー	八幡宮	NT2	62	ヒタキ科	トラツグミ	ひこべえの森	NT
25	チドリ科	タゲリ	運動公園	NT2	63		シロハラ	ひこべえの森	
26		イカルチドリ	元荒川		64		アカハラ	ひこべえの森	
27		コチドリ	プール前		65		ツグミ	ひこべえの森	
28	シギ科	クサシギ	運動公園		66		ジョウビタキ	ひこべえの森	
29		イソシギ	運動公園	VU	67		エゾビタキ	運動公園	
30	カモメ科	ユリカモメ	元荒川		68	スズメ科	スズメ	ひこべえの森	
31		コアジサシ	運動公園	OR	69	セキレイ科	ハクセキレイ	元荒川	
32	タカ科	トビ	柴山沼	DD	70		セグロセキレイ	元荒川	
33		ハイタカ	ひこべえの森	NT2	71	アトリ科	カワラヒワ	ひこべえの森	
34		オオタカ	ひこべえの森	VU	72		マヒワ	ひこべえの森	
35		サシバ	ひこべえの森	OR	73		シメ	ひこべえの森	
36		ノスリ	ひこべえの森	NT2	74	ホオジロ科	ホオジロ	ひこべえの森	
37		フクロウ	ひこべえの森	NT2	75		カシラダカ	ひこべえの森	
38	フクロウ科	アオバズク	ひこべえの森	NT2	76		アオジ	ひこべえの森	DD

*CR：絶滅危惧ⅠA類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、NT1：準絶滅危惧Ⅰ型（種本来の特性として脆弱な要素をもつ種）、NT2：準絶滅危惧Ⅱ型（生息状況の推移から判断して種の存続への圧迫が強まっていると判断される種、NT1・NT2は埼玉県独自のカテゴリ）、DD：情報不足、(カテゴリ評価は『埼玉県レッドデータブック動物編2018』による。)

● 第2章 1(1) 指定等文化財の概要

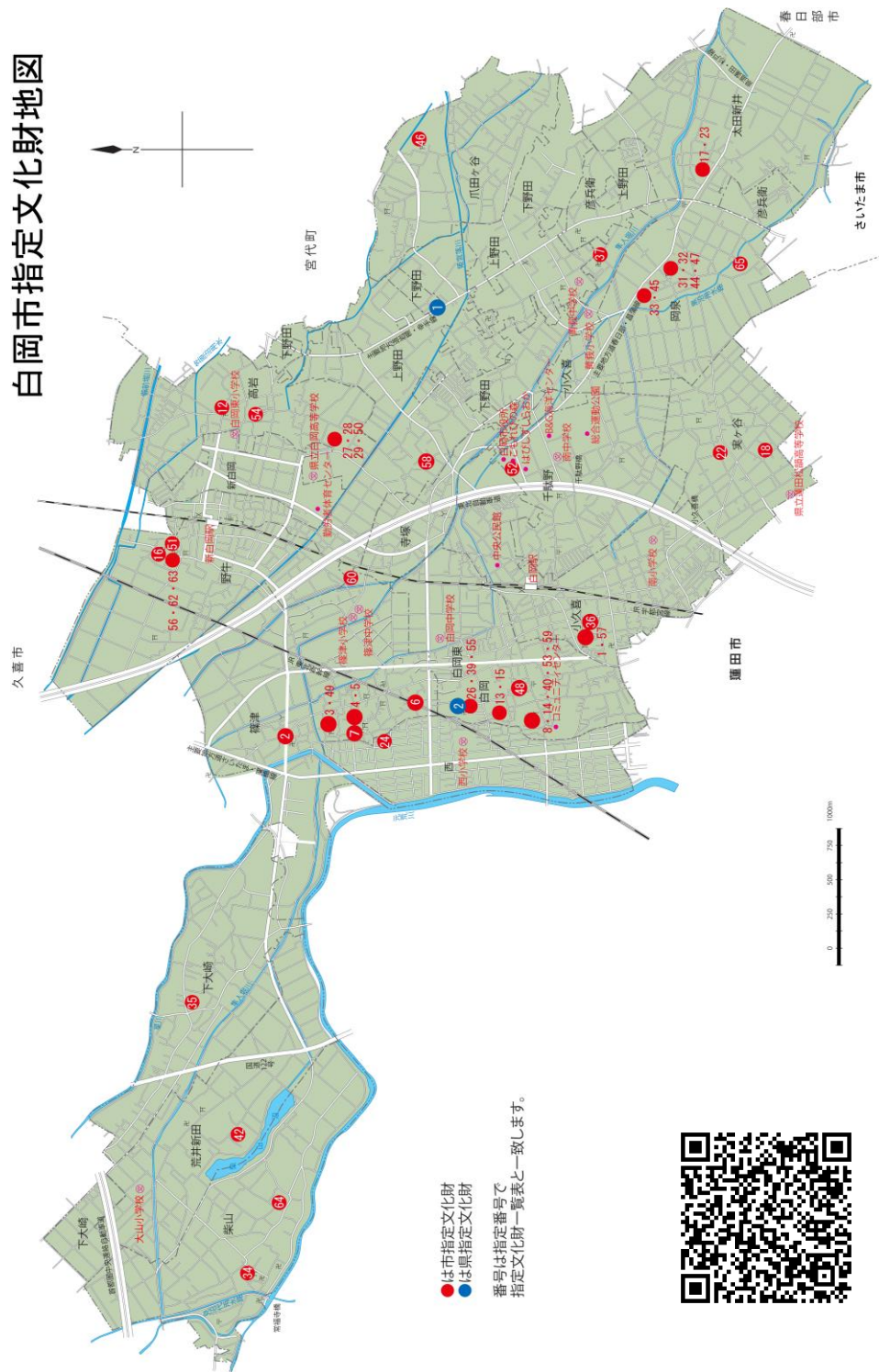
市内の指定文化財一覧

種類		名称	員数	時代	法量	指定 年月日	地図 番号
市	有形(建)	篠津久伊豆神社本社殿	1 棟	江戸		S50.11.1	7
市	有形(建)	忠恩寺山門	1 棟	江戸	桁行 7.5m、 梁間 4.25m	S55.11.1	27
市	有形(建)	庄兵衛堰柵	1 基	明治(40 年・1907)	間口 19.5m、 長さ 19.1m	R1.3.12	60
市	有形(絵)	紙本着色新井白石画像	1 幅	江戸	長 111cm、 幅 63.5cm	S54.11.1	16
県	有形(彫)	木造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉	高 64.3cm	S35.3.1	②
市	有形(彫)	木造薬師如来坐像	1 躯	室町	高 53.0cm	S54.11.1	17
市	有形(彫)	円空作薬師如来坐像	1 躯	江戸	高 17.1cm	S55.11.1	22
市	有形(彫)	円空作菩薩形坐像	1 躯	江戸	高 11.4cm	S55.11.1	23
市	有形(彫)	円空作観音菩薩立像	1 躯	江戸	高 15.6cm	S56.11.1	24
市	有形(彫)	木造大日如来坐像	1 躯	鎌倉	高 2.73m	S56.11.1	37
市	有形(彫)	木造達磨大師像	1 躯	室町	高 70cm	S56.11.1	39
市	有形(彫)	木造阿弥陀如来坐像	1 躯	平安	高 108.5cm	R5.4.13	61
市	有形(書)	山岡鉄太郎墨跡	2 幅	明治(20 年・1887)	長 13.6m、 幅 1.2m	S53.11.1	12
市	有形(書)	新井白石自詠詩「贈北客」 付附鳳、成美自詠詩	1 枚	江戸	長 19cm、 幅 10.3cm	H24.9.7	56
市	有形(古)	興善寺朱印状	11 点	最古 天正 19年(1591)		S55.11.1	26
市	有形(古)	忠恩寺文書	13 点	最古 天文 22年(1553)		S55.11.1	29
市	有形(古)	鬼久保家文書	3,648 点	最古 寛永 5年(1628)		S55.11.1	36
市	有形(古)	北条氏繁判物	1 点	室町(天正 5 年・1577)		R8.3.19	62
市	有形(古)	旗本新井家野牛村政関係文書	59 点	江戸		R8.3.19	63
市	有形(古)	堤置争論裁許状	1 点	江戸	長 201 cm、 幅 332cm	R8.3.19	64
市	有形(古)	日川関係文書	11 点	江戸		R8.3.19	65
市	有形(考)	タタラ山遺跡出土遺物	75 点	縄文時代前期		H20.6.10	52
市	有形(歴)	正福院の宝篋印塔	1 基	江戸(正徳 3 年・1713)	高 4.3m	S53.11.1	13
市	有形(歴)	鬼窪八幡宮鰐口	1 口	室町(康正 2 年・1456)	径 29cm	S53.11.1	14
市	有形(歴)	阿弥陀三尊種子板石塔婆	1 基	鎌倉(正応 2 年・1289)	高 127cm、 幅 36cm	S54.11.1	18
市	有形(歴)	忠恩寺十三仏	1 基	江戸(安永 8 年・1779)	高 143cm、 幅 64cm	S55.11.1	28
市	有形(歴)	白岡八幡宮棟札	8 枚	最古 元禄 7 年(1694)		S56.11.1	40
市	有形(歴)	荒井新田の高札	5 枚	最古 天和 2 年(1682)		S56.11.1	42

種類		名称	員数	時代	法量	指定 年月日	地図 番号
市	有形(歴)	忠恩寺九品仏	10 基	江戸(延宝6年・1678)		H8.3.5	50
市	有形(歴)	新井白石奉納扁額 付朝鮮通信使李碩筆下書	各 1 面	江戸(正徳元年・1711)	長 84.5cm、幅 56.2cm	H14.12.6	51
市	有形(歴)	興善寺中世石造物群	8 基	鎌倉、室町		H23.6.8	55
市	有形(歴)	鷹場関係資料群	4 点	江戸		R1.3.12	58
市	有形(歴)	白岡八幡宮梵鐘	1 口	江戸(延宝3年・1675)	高 90cm、口径 51cm	R1.3.12	59
市	有形民俗	篠津天王様の山車・上宿耕地	1 基	江戸	幅 3.24m、長 3.43m	S50.11.1	2
市	有形民俗	篠津天王様の山車・横宿耕地	1 基	江戸	幅 2.81m、長 3.24m	S50.11.1	3
市	有形民俗	篠津天王様の山車・宿耕地	1 基	江戸	幅 2.60m、長 3.24m	S50.11.1	4
市	有形民俗	篠津天王様の山車・下宿耕地	1 基	江戸		S50.11.1	5
市	有形民俗	篠津天王様の山車・神山耕地	1 基	江戸	幅 2.89m、長 3.49m	S50.11.1	6
市	有形民俗	岡泉の百庚申	97 基	江戸(万延元年・1860)	高 50cm、幅 20cm(標準)	S55.11.1	33
市	有形民俗	柴山諏訪八幡神社の奉納絵馬	50 面	最古 弘化元年(1844)		S55.11.1	34
市	有形民俗	下大崎住吉神社の奉納絵馬	9 面	最古 元文4年(1739)		S55.11.1	35
市	有形民俗	庚申待供養塔	1 基	江戸(天和2年・1682)	高 222cm	S56.11.1	45
市	有形民俗	岡泉天王様の山車	1 基	明治初期	幅 2.03m、長 2.90m	S61.4.1	47
市	有形民俗	牛頭天王祭礼用具一式付 収納箱	1 式	江戸		H3.6.5	48
市	有形民俗	篠津天王様の神輿	1 基	江戸	幅 165cm	H5.4.1	49
市	有形民俗	白岡八幡宮奉納絵馬群	32 面	最古 文政3年(1820)		H14.12.6	53
市	有形民俗	高岩天満神社奉納絵馬群	39 面	最古 文政 11 年 (1828)		H14.12.6	54
市	有形民俗	小久喜の獅子舞 隠居獅子頭及び天狗面	4 点	江戸(18 世紀後半)		R1.3.12	57
市	無形民俗	小久喜の獅子舞		文政 11 年(1828) 伝 来という。		S50.11.1	1
市	無形民俗	岡泉鷲神社の神楽		天保年間伝来という。		S55.11.1	31
市	無形民俗	岡泉大尽囃子		天保年間伝来という。		S55.11.1	32
県	記念物(史)	一里塚	2 基	江戸		S2.3.31	①
市	記念物(史)	正福院貝塚		縄文時代前期		S53.11.1	15
国	記念物(天)	越ヶ谷のシラコバト			生息地	S31.1.14	—
市	記念物(天)	白岡八幡宮のカヤ	1 本		高 26.8m、幹廻 5.0m	S50.11.1	8
市	記念物(天)	岡泉鷲神社の大ケヤキ	2 本		高 29.2m、幹廻 4.4m	S56.11.1	44
市	記念物(天)	爪田ヶ谷諏訪神社の大スギ	1 本		高 24.1m、幹廻 3.6m	S56.11.1	46

(史) …史跡、(建) …建造物、(絵) …絵画、(彫) …彫刻、(書) …書跡・典籍・古文書、(歴) …歴史資料、(天) …天然記念物、(考) …考古資料 9、10、11、19、21、25、30、38、41、43 は指定解除

白岡市指定文化財地図



市内の登録文化財一覧

種類	名称	員数	時代	法量	登録年月日
市	有形(歴)	田口家文書	一式	最古 元禄 5 年 (1692)	R8.3.19
市	有形(歴)	大久保家資料	一式	最古 天正 5 年 (1577)	R8.3.19
市	有形(歴)	澁谷家資料	一式	最古 寛文 11 年 (1671)	R8.3.19

(書) …書跡・典籍・古文書、(歴) …歴史資料

● 第2章 1(2) 埋蔵文化財の概要

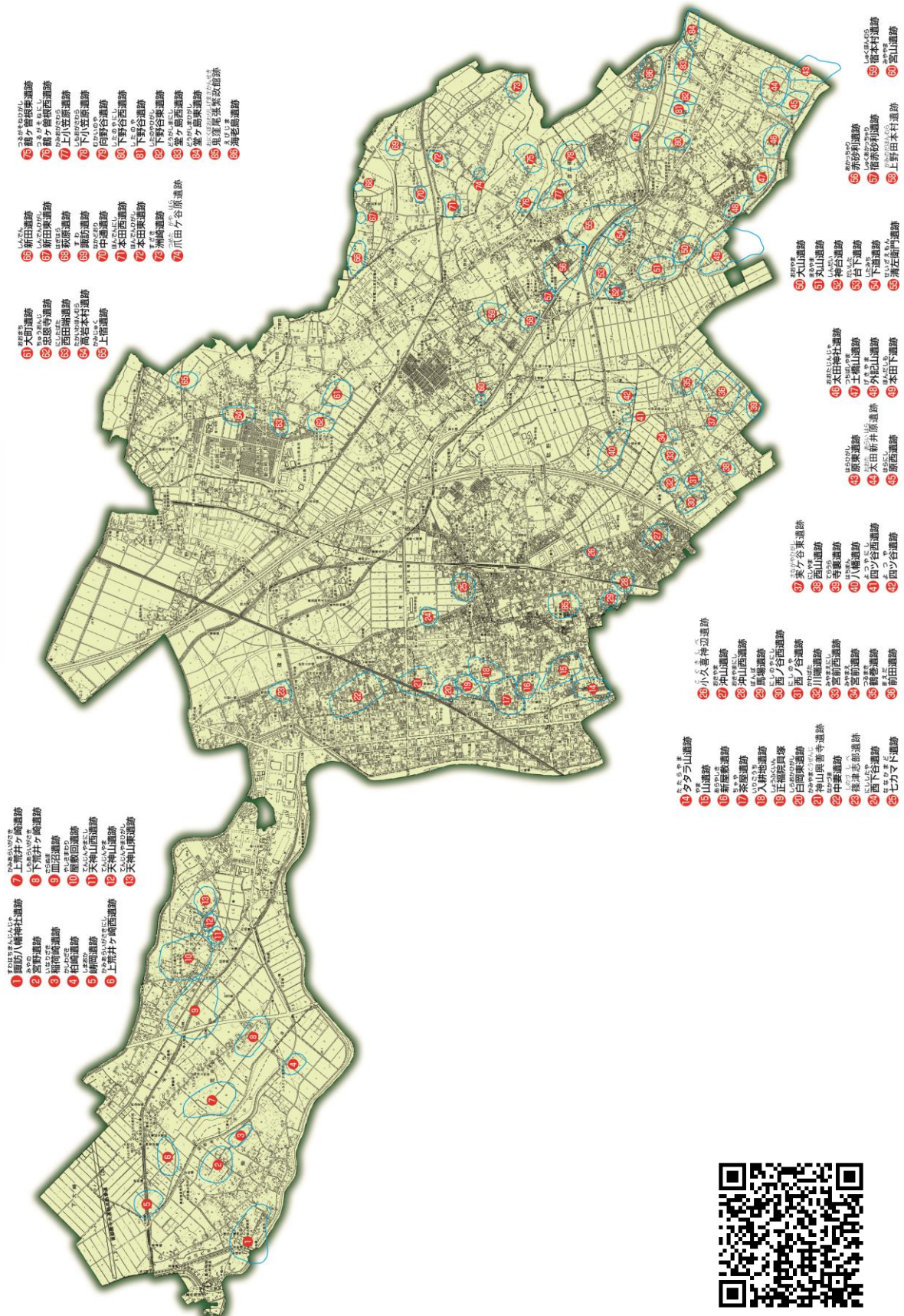
市内の埋蔵文化財包蔵地一覧

No.	遺跡名	所在地	種別	主な時代	摘 要
1	諏訪八幡神社遺跡	柴山字宮野	集落跡	縄文早～後、古墳前、中世、近世	縄文時代中期主体地点と後期主体地点とがある模様。発掘調査実施の正泉寺では近世～近代廃棄土坑から多量の遺物。
2	宮野遺跡	柴山字宮野	集落跡	縄文中・後、古墳前	
3	稻荷崎遺跡	柴山字稻荷崎	集落跡	縄文中、古墳前	
4	柏崎遺跡	柴山字柏崎	集落跡	縄文前・後	
5	しま岡遺跡	荒井新田字しま岡	集落跡	縄文前・後	遺跡名「しま」は山篇に寿。
6	上荒井ヶ崎西遺跡	荒井新田字上荒井ヶ崎	集落跡	縄文早・中・後	
7	上荒井ヶ崎遺跡	荒井新田字上荒井ヶ崎	集落跡	縄文早・中	
8	下荒井ヶ崎遺跡	荒井新田字下荒井ヶ崎	集落跡	縄文早・中・後、古墳前、中世	
9	皿沼遺跡	下大崎字屋敷前	集落跡	縄文中・後、古墳前	埋没台地上の複合遺跡。縄文時代中～後期、古墳時代前期。
10	屋敷回遺跡	下大崎字屋敷回	集落跡	古墳前	
11	天神山西遺跡	下大崎字屋敷回	集落跡	古墳前	
12	天神山遺跡	下大崎字屋敷回	集落跡	縄文早、古墳前、奈良、平安	
13	天神山東遺跡	下大崎字屋敷回	集落跡	縄文早～中	
14	タタラ山遺跡	白岡字山	集落跡	旧石器、縄文草創～晩、古墳前、奈良、平安、近世	縄文時代早期条痕文期から前期花積下層期にかけての拠点集落。特に花積期は70件を超える集落。良好な住居跡一括遺物、石製装飾品多数。
15	山遺跡	白岡字山	集落跡、窯跡	旧石器、縄文早～後、奈良、平安、中世、近世	縄文時代中期後半の拠点集落。第3地点では木炭窯跡を検出、1基は分析により8～9世紀。
16	新屋敷遺跡	白岡字茶屋	集落跡	縄文早～後、平安、中世、近世	中近世の陣屋跡(館跡)との伝承あり。
17	茶屋遺跡	白岡字茶屋	貝塚、集落跡、城館跡	縄文早・前、古墳前、中世、近世	縄文時代前期後半、古墳時代前期の集落遺跡。中世館跡の可能性も高い。第1地点では諸磯式と浮島式が共伴出土。第6地点ではS字状口縁台付甕が出土。
18	入耕地遺跡	白岡字茶屋	集落跡、墓、城館跡	旧石器・縄文早・後・晩、古墳前、中世、近世	縄文時代後～晩期の環状盛土を持つ集落、古墳時代前期の集落、中世館跡。白岡八幡宮と正福院との中間に位置することから野与党鬼窪氏関連の館跡と推定される。
19	正福院貝塚	白岡字茶屋	集落跡、貝塚、墓、寺院跡	縄文早～晩、古墳前、中世	市指定史跡。貝塚は地点貝塚と斜面貝塚があるが未調査。正福院本堂の発掘調査では黒浜期の住居を検出。
20	白岡東遺跡	白岡字東	集落跡	縄文早・前・後、中世、近世	
21	神山興善寺遺跡	白岡字東・篠津字神山	集落跡、寺院跡	旧石器、縄文前～後、古墳前～後、奈良、平安、中世、近世	縄文時代、古墳時代前期の集落及び中世寺院。遺跡内の中世寺院・興善寺に関わる遺構・遺物群。第4地点では幅7m、深さ2.6mの大溝検出。
22	中妻遺跡	篠津字中妻	集落跡、城館跡	縄文早～後・古墳後、奈良、平安、中世、近世	縄文時代早期、前期の集落、古墳時代後期、奈良・平安時代の集落。墨書土器(坏)、布目瓦片出土。第10地点で精錬鍛冶を行った可能性の高い鍛冶工房跡を検出。
23	篠津志部遺跡	篠津字志部	集落跡、寺院跡	奈良、平安	
24	西下谷遺跡	白岡字西下谷	集落跡	縄文中、古墳前	
25	七カマド遺跡	白岡字東下谷	集落跡	縄文後、中世、近世	溝跡1条(中・近世)。中世陶器。鉄滓。
26	小久喜神辺遺跡	小久喜字神辺	集落跡	縄文後	
27	沖山遺跡	小久喜字沖山	集落跡	縄文中	

No.	遺跡名	所在地	種別	主な時代	摘 要
28	沖山西遺跡	小久喜字沖山	集落跡、 窯跡	縄文中、奈良、 平安、中世、近 世	縄文時代中期後半の集落遺跡であるほか、奈良・平安時代の木炭窯跡3基を検出。
29	馬場遺跡	小久喜字馬場	集落跡	縄文中、近世	
30	西ノ谷西遺跡	実ケ谷字西ノ谷	集落跡	縄文前・中	
31	西ノ谷遺跡	実ケ谷字西ノ谷	集落跡	縄文中、奈良、 平安	
32	川端遺跡	実ケ谷字川端	集落跡	縄文中	
33	宮前西遺跡	実ケ谷字宮前	集落跡	縄文前～後	
34	宮前遺跡	実ケ谷字宮前	集落跡	縄文中	
35	鶴巻遺跡	実ケ谷字鶴巻	集落跡	縄文中、奈良、 平安	縄文時代中期・奈良・平安時代の集落。墨書土器出土。
36	前田遺跡	実ケ谷字前田	集落跡、 墓	縄文中～晩、平 安、中世	縄文時代中期後半～晩期の集落遺跡。縄文時代晩期の良好な遺物包含層。環状盛土の可能性あり。安行Ⅲb期の墓坑群検出。
37	実ケ谷東遺跡	実ケ谷字東	集落跡	縄文中・晩	
38	西山遺跡	実ケ谷字西山	集落跡	縄文中	
39	寺裏遺跡	実ケ谷字寺裏	集落跡	縄文前～後、奈 良、平安	
40	八幡遺跡	千駄野字八幡	集落跡	旧石器、縄文中	
41	四ツ谷西遺跡	千駄野字四ツ谷	集落跡	縄文	
42	四ツ谷遺跡	千駄野字四ツ谷	集落跡	古墳前	
43	原東遺跡	太田新井字原	集落跡	縄文後	
44	太田新井原遺跡	太田新井字原	集落跡	縄文中、近世	
45	原西遺跡	太田新井字原	集落跡	縄文後	
46	太田神社遺跡	太田新井字原	集落跡、 城館跡	縄文前・後、中 世、近世	
47	土橋山遺跡	太田新井字土橋山	集落跡	縄文後	
48	外記山遺跡	彦兵衛字外記山	集落跡	縄文後	
49	本田下遺跡	岡泉字本田下	集 落 跡 貝塚、墓	縄文早～後、中 世	縄文時代早期～後期の集落遺跡。早期炉穴群、前期黒浜期の地点貝塚あり。第1地点では、住居内貝塚(中期加曾利Ⅲ)を確認。中世墓穴群。
50	大山遺跡	岡泉字大山	集落跡	縄文早	
51	丸山遺跡	岡泉字丸山	集落跡	縄文前・後、中 世	
52	神台遺跡	岡泉字神台	集落跡	縄文早・中、古 墳前、奈良、平 安、中世、近世	
53	台下遺跡	岡泉字台下	集落跡	縄文中・後、近 世	
54	下道遺跡	岡泉字下道	集落跡	縄文中～晩	
55	清左衛門遺跡	彦兵衛字清左衛門	集落跡、 貝塚、墓	旧石器、縄文前 ～晩、中世	縄文時代前期～晩期の集落。特に後期初頭以降集落拡大。「大日沼の谷」に木組みの水場遺構を持つ。谷頭を囲むように晩期墓穴群検出。人面土板・土偶、石棒、石冠など祭祀遺物多数。
56	赤砂利遺跡	上野田字赤砂利	集 落 跡 寺院跡	旧石器、縄文早 ～後、中世、近 世	縄文時代中期集落、中世寺院大徳寺跡。中世貿易磁器(白磁・青磁)・中世陶磁器(常滑系・瀬戸美濃系皿・東播系)・中世和鏡(菊双鳥鏡)など出土
57	宿赤砂利遺跡	下野田字宿赤砂利	集落跡	縄文	埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。
58	上野田本村遺跡	上野田字本村	集落跡	縄文中・後、平 安	
59	宿本村遺跡	下野田字宿本村	集落跡	縄文後、奈良、 平安、近世	
60	宮山遺跡	上野田字宮山	製鉄跡	時期不明	製鉄遺跡。

No.	遺跡名	所在地	種別	主な時代	摘 要
61	大町遺跡	高岩字大町	集落跡	縄文早・中、平安、近世	
62	忠恩寺遺跡	高岩字寺下	集落跡 寺院跡	縄文中、奈良、平安、中世	
63	西田端遺跡	高岩字西田端	集落跡	縄文中、平安	
64	高岩本村遺跡	高岩字本村	集落跡	縄文中	
65	上宿遺跡	高岩字上宿	集落跡	平安	
66	新田遺跡	爪田ヶ谷字新田	集落跡	縄文中、中世	
67	新田東遺跡	爪田ヶ谷字新田	集落跡	縄文前、中世、近世	
68	萩原遺跡	爪田ヶ谷字萩原	集落跡	平安、中世、近世	
69	諏訪遺跡	爪田ヶ谷字諏訪	集落跡	中世	「諏訪山館」とも。
70	中通遺跡	爪田ヶ谷字中通	集落跡	縄文中、中世	
71	本田西遺跡	爪田ヶ谷字本田	集落跡	縄文中・後	
72	本田東遺跡	爪田ヶ谷字本田	集落跡	縄文中・後	
73	洲崎遺跡	爪田ヶ谷字洲崎	集落跡	縄文後	宮代町No.37 と連続。
74	爪田ヶ谷原遺跡	爪田ヶ谷字原	集落跡	中世、近世	
75	鶴ヶ曽根東遺跡	下野田字鶴ヶ曽根	集落跡	縄文中、近世	
76	鶴ヶ曽根西遺跡	下野田字鶴ヶ曽根	集落跡	縄文後	
77	上小笠原遺跡	彦兵衛字上小笠原	集落跡	旧石器、縄文後、中世、近世	縄文時代後期前半の集落遺跡。径 10m超の大型住居跡を伴う。
78	下小笠原遺跡	彦兵衛字下小笠原	集落跡	縄文中・後	
79	向野谷遺跡	太田新井字向野谷	集落跡	縄文中	
80	下野谷西遺跡	太田新井字下野谷	集落跡	縄文後、近世	
81	下野谷遺跡	太田新井字下野谷	集落跡	縄文中、中世、近世	
82	下野谷東遺跡	太田新井字下野谷	集落跡	縄文後	
83	堂ヶ島西遺跡	太田新井字堂ヶ島	集落跡	縄文中・後	
84	堂ヶ島東遺跡	太田新井字堂ヶ島	集落跡	縄文前・中	
85	鬼窪尾張繁政館跡	小久喜字中村	城館跡、 窯跡	旧石器、縄文中・ 晩、中世、近世	鬼窪尾張繁政の館跡。16 世紀。館跡を区画する大規模な堀を検出。また中世埋納銭約 2000 枚を確認。第 5 地点では古代の木炭窯跡検出。
86	海老島遺跡	太田新井字海老島	集落跡	縄文早～後、平安	埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。

白岡市遺跡マップ



● 第4章 2(1) 既往調査の整理 ① 白岡町文化財資料調査

白岡町文化財資料調査の成果一覧

刊行年月	書名	調査報告内容
S50.12	白岡町の文化財 1 集	有形文化財 古文書(細井家文書ほか5件) 日川開発関係、遺跡・遺物類、神社仏閣、金石文 無形文化財 ささら獅子舞 大山詣 民俗資料 山車 庚申塔 記念物 天然記念物
S52.3	白岡町の文化財 2 集	有形文化財 古文書(浜田寅男家文書ほか3件) 石造物調査 (地蔵、馬頭観音、供養塔、宝篋印塔、庚申塔) 神社調査 (住吉神社) 無形文化財 (新田のおしさま) 民俗調査 屋号(岡泉、小久喜、爪田ヶ谷、白岡、高岩、下大崎、荒井新田、柴山) 年中行事(太田新井、上野田、岡泉、実ヶ谷、千駄野、白岡、篠津、寺塚、高岩) 方言
S53.3	白岡町の文化財 3 集	有形文化財 古文書(大久保静一家文書ほか3件) 石造物調査 (地蔵、馬頭観音、供養塔、宝篋印塔、不動明王、筆子塔) 水路・沼調査 (柴山沼、皿沼、庄兵衛堀、黒沼、笠原沼) 柴山伏越調査 民俗調査 屋号(上野田、下野田、太田新井、高岩、野牛、寺塚、篠津) 年中行事(柴山) 講(柴山、篠津、白岡、野牛、高岩、寺塚、小久喜、千駄野、上野田、太田新井) 伝説・言伝、子どもの遊び調査
S54.3	白岡町の文化財 4 集	有形文化財 古文書(浜田亮太郎家文書ほか5件) 石造物調査 (板石塔婆) 民俗調査 屋号(実ヶ谷) 年中行事(下大崎N家、野牛N家、白岡H家、新田のおしさま) 産育(小久喜、太田新井、爪田ヶ谷、白岡、柴山) 民間知識(俗信、民間療法、その他) 天然記念物 (岡泉、太田新井、爪田ヶ谷、実ヶ谷、上野田、下野田、柴山、下大崎、白岡、寺塚、野牛) 梨調査 (栽培法、伝播系譜)
S55.3	白岡町の文化財 5 集	地名調査 (全地区、大字、小字、小名)
S56.3	白岡町の文化財 6 集	有形文化財 古文書(田口家文書ほか7件) 民俗調査 年中行事調査(全地区) 民家調査(加藤豊吉家ほか9件)
S57.3	白岡町の文化財 7 集	神社仏閣信仰関係総合調査(日勝地区)
S57.10	白岡町の文化財 8 集	神社仏閣信仰関係総合調査(篠津・大山地区)

● 第4章 2(1) 既往調査の整理 ②白岡町史編さん事業に係る調査 白岡町史刊行物一覧

刊行年月	書名	シリーズ名	調査報告内容
S57.3	地誌	白岡町史資料 1	基礎資料として、新編武蔵風土記稿と武蔵国郡村誌のうち、白岡に関する部分を抽出再録
S58.3	原始・古代Ⅰ (遺跡分布調査)	白岡町史資料 2	調査期間 S57.1~4 町域全体の分布調査によって、84遺跡を確認
S58.3	民俗Ⅰ(大山地区の民俗)	白岡町史資料 3	調査 S57 年度 調査内容: 社会生活、作物の生産、年中行事、祭り・信仰、人の一生、身の回りの生活史、昔話と伝説、水と暮らし 調査範囲: 柴山、荒井新田、下大崎
S58.3	白岡町社寺堂庵書上		白岡町史資料1 地誌に再録した新編武蔵風土記稿と武蔵国郡村誌及び、社寺堂庵明細帳を基に、市域の神社、仏閣の変遷を把握
S59.3	民俗Ⅱ(篠津地区の民俗)	白岡町史資料 4	調査 S58 年度 調査内容: 社会生活、篠津宿のいとなみ、生産生業、年中行事、信仰、人の一生、身の回りの生活史、昔話と伝説 調査範囲: 篠津、野牛、高岩、寺塚、白岡
S59.	ふるさと白岡		普及版、市民の関心を高め円滑な調査と資料・情報収集を意図して発行。全戸配布
S60.3	篠津地区文書目録	白岡町史調査報告書 1	調査 ~S59.12 内容: 21家2,090点の諸家文書(近世、近代、典籍)また、社寺、講中等所蔵の信仰関係文書74点の目録 調査範囲: 篠津、野牛、高岩、寺塚、白岡
S61.2	新聞・公報 (新聞にみる白岡のできごと)	白岡町史資料 5	所収期間: 明治11年~昭和49年 収録紙: 坂東日報、埼玉新報、武蔵新報、五県新聞、国民新聞、東武新報、東京日日新聞、朝日(東京朝日)新聞、読売(読売報知)新聞、埼玉新聞 目録及び主要記事の集成 日勝村公報再録
S61.3	日勝地区文書目録	白岡町史調査報告書 2	調査 ~S60.12 内容: 8家2,537点の諸家文書(近世、近代、典籍)また、社寺、講中等所蔵の信仰関係文書7点の目録 調査範囲: 上野田、下野田、爪田ヶ谷、太田新井、彦兵衛
S61.3	金石Ⅰ	白岡町史資料 6	調査: S57.4~60.12(市域の悉皆調査)調査対象: S29.8 までの造立内容: 板石塔婆135基、五輪塔55基・宝篋印塔40基(寛永年間までいずれも部分を含む)、金工品(梵鐘5・半鐘20・鐃口8・記録を含む)、筆子塔67基、開山、中興開山等墓石23基
S62.1	自然(ふるさとの風土)	白岡町史資料 7	調査: S60.10~61.9(樹木調査) 内容: 自然現況 自然環境と植生 ふるさとの森と緑屋敷林、社寺林、斜面林20か所、巨樹・名木40件 生活と動植物(景観、季節の食と動植物、遊びと動植物、動植物の地方名)動植物今昔
S62.3	民俗Ⅲ(日勝地区の民俗)	白岡町史資料 8	調査 ~S61 年度 調査内容: 社会生活、生産生業、年中行事、信仰、人の一生、身の回りの生活史、昔話と伝説、交通交易、芸能 調査範囲: 岡泉、千駄野、小久喜、実ヶ谷、太田新井、上野田、下野田、爪田ヶ谷、彦兵衛
S62.3	原始・古代Ⅱ (個人所蔵遺物調査)	白岡町史資料 9	調査 S60・61 年度 調査内容: 個人所蔵遺物24家 国学院大学入耕地遺跡発掘調査報告再録、国学院大学考古学資料館所蔵遺物、興善寺所蔵遺物
S62.10	近世文書Ⅰ(近世文書にみる白岡のできごと)	白岡町史資料 10	調査 ~S61 年度 内容: 諸家文書の内、水争いなどをはじめ当時の村々の様子のわかる資料132点を年代、地域別に収録。
S63.1	金石Ⅱ(石仏・供養塔)	白岡町史資料 11	調査: S57.4~60.12(市域の悉皆調査)調査対象: S29.8 までの造立内容: 石仏(阿弥陀如来14基、観音菩薩13基、馬頭観音61基、勢至菩薩1基、虚空蔵菩薩2基、地藏菩薩88基、不動明王7基(脇侍含む)、庚申塔80基、その他8基)、供養塔(巡拝塔19基、廻国塔6基、読誦塔13基、光明真言塔5基、念仏供養塔9基、名号塔3基、石橋・敷石供養塔6基、二十三夜塔2基、その他3基)
S63.3	金石Ⅲ(神社奉納石・記念碑)	白岡町史資料 12	調査: S57.4~60.12(市域の悉皆調査)調査対象: S29.8 までの造立内容: 神社奉納石(鳥居19基、幟立23基、標柱12基、燈籠37基、手洗石29基、狛犬・眷属9基、力石41基、石段・敷石11基)、諸社諸神(稻荷社12基、天神・天満社17基、山嶽信仰21基、その他の諸神36基)、記念碑(社寺本屋改修記念碑17基、奉納寄進記念碑20基、参拝記念碑22基、慰霊・従軍記念碑8基、交通・土地・用水記念碑4基、その他の記念碑10基)
H1.3	白岡町史 通史編 上巻		原始~近世
H2.3	白岡町史 民俗編		調査期間: S57~61 年度 内容: 白岡町史資料民俗Ⅰ~Ⅲを基に編集
H3.3	写真で見る白岡町の近現代	白岡町史資料 13	調査: H1.8~H2 年度 内容: 空から見る白岡、人々の暮らし、信仰と文化、産業と経済、教育、政治と行政、水利と災害、社会と福祉、消防、交通と通信、兵事と戦争 写真提供者(団体)85 掲載写真 147
H3.8	日勝村誌	白岡町史資料 14	内容: 「日勝村誌」(T14 発行)を再録
H4.9	白岡町史 通史編 下巻		近代~現代(昭和29年まで)

● 第4章 2(1) 既往調査の整理 ③ 埋蔵文化財発掘調査 発掘調査報告書一覧

No.	刊行年	執筆者名、文献名、など	シリーズ名	発行者
1	1951	樋口清之 永峰光一「埼玉県南埼玉郡篠津白岡入郷地遺跡発掘調査略報」	『若木考古』5号	國學院大学
2	1983	『血沼遺跡発掘調査報告書』	白岡町文化財調査報告書 第1集	白岡町教育委員会
3	1984	『茶屋遺跡』	白岡町埋蔵文化財調査報告書第2集	白岡町教育委員会
4	1985	『三番耕地・十八番耕地・十二番耕地・神山』	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第43集	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
5	1987	『タタラ山遺跡』	白岡町タタラ山遺跡調査会調査報告	タタラ山遺跡調査会
6	1987	『鶴ヶ曾根西遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅰ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第3集	白岡町教育委員会
7	1988	『神台遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅱ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第4集	白岡町教育委員会
8	1989	『本田下遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅲ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第5集	白岡町教育委員会
9	1990	『山遺跡』	白岡町遺跡調査会調査報告書第1集	白岡町遺跡調査会
10	1990	『下道遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅳ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第6集	白岡町教育委員会
11	1994	『正福院貝塚』	白岡町遺跡調査会調査報告書第2集	白岡町遺跡調査会
12	1996	『タタラ山遺跡(第3地点)』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅴ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第7集	白岡町教育委員会
13	1996	『入耕地遺跡(第2地点)』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅵ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第8集	白岡町教育委員会
14	1996	『赤砂利遺跡』	白岡町遺跡調査会調査報告書第3集	白岡町遺跡調査会
15	1996	『南鬼窪氏館跡(第1地点・第2地点)』	白岡町遺跡調査会調査報告書第4集	白岡町遺跡調査会
16	1997	『鶴巻遺跡』	白岡町遺跡調査会調査報告書第5集	白岡町遺跡調査会
17	1998	『前田遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅶ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第9集	白岡町教育委員会
18	1998	『茶屋遺跡(第2地点・第3地点)』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅷ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第10集	白岡町教育委員会
19	1999	『海老島遺跡』	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第256集	(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
20	1999	『山遺跡(第4地点)』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅸ	白岡町埋蔵文化財報告書第11集	白岡町教育委員会
21	2003	『タタラ山遺跡(第5地点・第6地点)』町内遺跡群発掘調査報告書Ⅹ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第12集	白岡町教育委員会
22	2004	『赤砂利遺跡(第2地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅠ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第13集	白岡町教育委員会
23	2005	『タタラ山遺跡(第7地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅡ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第14集	白岡町教育委員会
24	2006	『諏訪八幡神社遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅢ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第15集	白岡町教育委員会
25	2007	『入耕地遺跡(第5地点・第6地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅣ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第16集	白岡町教育委員会
26	2008	『新屋敷遺跡・中妻遺跡(第1地点)・鶴巻遺跡(第2地点)・清左衛門遺跡(第1地点)・赤砂利遺跡(第3地点・第4地点)・大町遺跡』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅤ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第17集	白岡町教育委員会
27	2008	『茶屋遺跡(第4地点・第5地点・第6地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅥ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第18集	白岡町教育委員会
28	2008	『タタラ山遺跡—第2地点—』	白岡町遺跡調査会調査報告書第6集	白岡町遺跡調査会
29	2008	『山遺跡—第2地点—』	白岡町遺跡調査会調査報告書第7集	白岡町遺跡調査会
30	2009	『清左衛門遺跡(第2地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅦ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第19集	白岡町教育委員会
31	2010	『タタラ山遺跡—第4地点—』	白岡町遺跡調査会調査報告書第8集	白岡町遺跡調査会
32	2010	『入耕地遺跡—第1・3地点—』	白岡町遺跡調査会調査報告書第9集	白岡町遺跡調査会
33	2011	『山遺跡(第7地点)』町内遺跡群発掘調査報告書ⅩⅧ	白岡町埋蔵文化財調査報告書第20集	白岡町教育委員会
34	2012	『入耕地遺跡—第4・7地点—』	白岡町遺跡調査会調査報告書第10集	白岡町遺跡調査会

No.	刊行年	執筆者名、文献名、など	シリーズ名	発行者
35	2012	『中妻遺跡(第2・4・8地点)』 町内遺跡群発掘調査報告書XIX	白岡町埋蔵文化財調査報告書第21集	白岡町教育委員会
36	2013	『上小笠原遺跡(第1・2・3地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XX	白岡市埋蔵文化財調査報告書第22集	白岡市教育委員会
37	2014	『前田遺跡(第2地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXI	白岡市埋蔵文化財調査報告書第23集	白岡市教育委員会
38	2015	『沖山遺跡(第1地点)・沖山西遺跡(第1・2・3地点)・大町遺跡(第2地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第24集	白岡市教育委員会
39	2015	『清左衛門遺跡』	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第416集	(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
40	2016	『中妻遺跡(第9・10・11・12・17地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXIII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第25集	白岡市教育委員会
41	2017	『七カマド遺跡(第1地点)・赤砂利遺跡(第5・7・10・11地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXIV	白岡市埋蔵文化財調査報告書第26集	白岡市教育委員会
42	2018	『入耕地遺跡(第8・9・11地点)・正福院貝塚(第2地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXV	白岡市埋蔵文化財調査報告書第27集	白岡市教育委員会
43	2018	『赤砂利・宿赤砂利遺跡』	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第443集	(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
44	2019	『入耕地遺跡(第10・12地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXVI	白岡市埋蔵文化財調査報告書第28集	白岡市教育委員会
45	2020	『神山遺跡(第2・3・4・7・8地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXVII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第29集	白岡市教育委員会
46	2021	『タタラ山遺跡(第9・10地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXVIII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第30集	白岡市教育委員会
47	2022	『タタラ山遺跡(第8・11地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXIX	白岡市埋蔵文化財調査報告書第31集	白岡市教育委員会
48	2023	『山遺跡(第3・9・12・14地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXX	白岡市埋蔵文化財調査報告書第32集	白岡市教育委員会
49	2024	『山遺跡(第5・11・18地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXXI	白岡市埋蔵文化財調査報告書第33集	白岡市教育委員会
50	2025	『山遺跡(第6・15・16・19地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXXII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第34集	白岡市教育委員会
51	2026	『タタラ山遺跡(第12地点)・山遺跡(第10・13・17地点)』 市内遺跡群発掘調査報告書XXXIII	白岡市埋蔵文化財調査報告書第35集	白岡市教育委員会

● 第4章2(1)既往調査の整理 ④埼玉県の調査 白岡市の関係する埼玉県調査報告書一覧

刊行年月	書名	シリーズ名	調査期間	調査主体・発行者
S54.3	埼玉県民俗地図	民俗文化財緊急分布調査報告書	S52～S53	埼玉県教育委員会
S56.3	埼玉県板石塔婆調査報告書 本文・図版編、資料編(1・2)付録		S51～S56	埼玉県教育委員会
S57.3	県内鎌倉街道伝承地所在確認調査報告書	埼玉県歴史の道調査報告書	S56～S57	埼玉県教育委員会
S57.3	埼玉の文化財 -史跡編-	埼玉の文化財シリーズ4	S57	埼玉県教育委員会
S57.3	埼玉の人形芝居用具(上巻)	埼玉県人形芝居用具緊急調査報告書	S46	埼玉県教育委員会
S58.3	埼玉の人形芝居用具(下巻)	埼玉県人形芝居用具緊急調査報告書	S46	埼玉県教育委員会
S59.3	日光御成道	歴史の道調査報告書 第2集	S58～S59	埼玉県教育委員会
S59.3	埼玉の近世社寺建築 -埼玉県近世社寺建築緊急調査報告書-	埼玉県有形文化財調査報告I	S57	埼玉県教育委員会
S59.10	埼玉県寺院聖教文書遺品調査報告書 I 目録編 II 解説・史料編		S54～S59	埼玉県立文書館
S59.3	唐臼	埼玉県民俗工芸緊急調査報告書 第1集	S57～S58	埼玉県立民俗文化センター
S60.3	曲物	埼玉県民俗工芸緊急調査報告書 第2集	S57～S59	埼玉県立民俗文化センター
S61.3	刳物	埼玉県民俗工芸緊急調査報告書 第3集	S58～S60	埼玉県立民俗文化センター
S60.3	埼玉県大正建造物緊急調査報告書	埼玉県有形文化財調査報告II	S56～S58	埼玉県教育委員会
S61.3	埼玉の祭り	埼玉県祭礼基本資料収集調査報告書	S57～S59	埼玉県教育委員会
S62.3	美術工芸品(彫刻)所在緊急調査報告書III		S52～S55	埼玉県立博物館
S60.3	埼玉の鍛冶(所在調査結果一覧別冊有)	埼玉県民俗工芸調査報告書 第3集	S58～S59	埼玉県立民俗文化センター

発行年月	書名	シリーズ名	調査期間	調査主体・発行者
S61.3	埼玉のかわら	埼玉県民俗工芸調査報告書 第4集	S58～S59	埼玉県立民俗文化センター
S62.3	埼玉の桐細工	埼玉県民俗工芸調査報告書 第5集	S60～S61	埼玉県立民俗文化センター
S62.10	埼玉の城館跡		S41～S42	埼玉県教育会編 国書刊行会発行
S63.3	埼玉の中世城館跡		S58～S62	埼玉県教育委員会
S63.3	埼玉県の諸職	埼玉県諸職関係民俗文化財調査報告書	S61～S62	埼玉県教育委員会
H2.3	埼玉県神社関係古文書調査報告書		S62～H1	埼玉県教育委員会
H3.3	元荒川の水運	歴史の道調査報告書 第13集	H2～H3	埼玉県教育委員会
H4.3	埼玉の中世寺院跡		S63～H3	埼玉県教育委員会
H4.3	埼玉県の民俗芸能	埼玉県民俗芸能緊急調査報告書	H2～H3	埼玉県教育委員会
H5.2	中川水系-Ⅰ総論・Ⅱ自然- 中川水系関係年表 別表	中川水系総合調査報告書 1	H1～H4	埼玉県
H5.2	中川水系-Ⅲ人文-	中川水系総合調査報告書 2	H1～H4	埼玉県
H6.3	埼玉県古墳詳細分布調査報告書		H1～H5	埼玉県教育委員会
H6.3	埼玉のオビシャ行事	埼玉のオビシャ行事調査事業報告書	H4～H5	埼玉県教育委員会
H8.	平成8年 彩の川の一里塚基礎調査報告書			埼玉県南部河川改修事務所
H8.2	埼玉の祭り囃子Ⅵ(北埼玉・南埼玉・北葛編)	埼玉県民俗芸能調査報告書 第12集	H6～H7	埼玉県立民俗文化センター
H9.1	埼玉の祭り・行事	埼玉の祭り・行事調査事業報告書	H6～H8	埼玉県教育委員会
H9.3	埼玉の草屋根葺き	埼玉県民俗工芸調査報告書第12集	H7～H8	埼玉県立民俗文化センター
H10.2	埼玉人物事典		H5～H9	埼玉県教育委員会
H10.3	埼玉県中世石造物調査報告書 Ⅰ本文・資料編 Ⅱ図版編		H4～H9	埼玉県教育委員会
H13.2	埼玉県の歴史的土木構造物		H12	埼玉県建設コンサルタント技術研修協会
H25.3	埼玉の夏祭り調査概報Ⅰ-北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾-		H24	埼玉県立歴史と民俗の博物館
H29.3	埼玉県の近代和風建築	埼玉県近代和風建築総合調査報告書	H26～H28	埼玉県教育委員会

● 第4章2(1)既往調査の整理 ⑤東部地区文化財担当者の調査 東部地区文化財担当者調査報告書一覧

刊行年月	書名	シリーズ名	調査期間	調査報告内容
H5.3	埼玉の民具	埼玉地区文化財担当者報告書第1集	H2～3	所蔵民具調査
H8.2	埼玉の道しるべ	埼玉地区文化財担当者報告書第2集	H4～5	道しるべ調査
H13.3	埼玉の縄文前期	埼玉地区文化財担当者報告書第3集	H6～10	縄文時代前期遺跡調査
H13.3	埼玉のまつり・行事	埼玉地区文化財担当者報告書第4集	H9～11	祭礼・行事調査
H17.3	埼玉の酒文化	埼玉地区文化財担当者報告書第5集	H12～16	酒造・流通・用具調査
H19.5	埼玉の遺跡	埼玉地区文化財担当者報告書第6集	H15～17	遺跡分布状況調査
H25.12	埼玉・北埼玉の水塚	東部地区文化財担当者報告書第7集	H17～24	水塚、水害調査
H27.11	埼玉県東部地区の交通	東部地区文化財担当者報告書第8集	H22～27	交通史調査
R6.3	埼玉県東部地区の奈良時代・平安時代	東部地区文化財担当者報告書第8集	H25～R5	奈良・平安時代遺跡調査

● 第4章2(1)既往調査の整理 ⑥その他の調査

刊行年月	書名・調査名	調査主体	調査期間	調査報告内容
H25.1	中島撫山と白岡	白岡市(町)教育委員会	H24～25	中島撫山墨跡・記念碑調査

● 第4章2(2) 市民参画による文化財の把握 「みんなで作ろう白岡遺産ワークショップ」開催履歴

回数	日付	会場	スタイル	内容
第1回	令和元年度 6月23日(日)	生涯学習 センター	講義	文化財保存活用地域計画の概要や関連文化財群の考え方について県外の事例をもとに学習
第2回	7月28日(日)	生涯学習 センター	講義	具体的事例として世界遺産「富岡製糸場と絹遺産群」や群馬県、埼玉県行田市の日本遺産を取り上げて学習
第3回	8月25日(日)	生涯学習 センター	講義	「白岡遺産」の例題として「水と人々の暮らし」というテーマを設定し関連文化財群やストーリーについて学習
第4回	9月22日(日)	大山地区	現地見学	柴山伏越、橋戸地区の町並み、三十六間樋管、旧大山小学校校舎、大山地区の水塚、諏訪八幡神社などのフィールドワーク
第5回	10月27日(日)	篠津地区	現地見学	青雲寺、篠津久伊豆神社、興善寺、正福院貝塚などのフィールドワーク
第6回	11月24日(日)	日勝地区	現地見学	岡泉観音堂、安楽寺、大徳寺、正伝寺などのフィールドワーク
第7回	12月21日(土)	生涯学習 センター	グループ ワーク	キーワードを出し合って白岡遺産のストーリーや関連文化財群について話し合うグループワーク
第8回	1月26日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	各班でキーワードを検討しながら班別のテーマを決めるグループワーク
第9回	2月23日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	各班でキーワードを検討しながら班別のテーマを決めるグループワーク
第10回	令和2年度 7月26日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	キックオフ・フォーラムでの発表に向けての準備をおこなうグループワーク
第11回	8月23日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	キックオフ・フォーラムでの発表に向けての準備をおこなうグループワーク

「白岡遺産の作り方講座」開催履歴

回数	日付	会場	スタイル	内容
第1回	令和6年度 7月21日(日)	生涯学習 センター	講義	白岡市文化財保存活用地域計画の概要と「白岡遺産」制度の仕組みと関連文化財群の考え方について学習
第2回	8月18日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	キーワードを出し合って白岡遺産のストーリーや関連文化財群について話し合うグループワーク
第3回	9月15日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	キーワードの相互関係を確認しながら、グルーピングを行うグループワーク
第4回	10月20日(日)	生涯学習 センター	グループ ワーク	保存活用に関する方針や具体的事業計画について話し合うグループワーク

「白岡遺産ワークショップ」ワークシート

白岡遺産のストーリーづくりワークシート1

テーマ 鎌倉街道と中世寺院

1 地域の概要(想定する白岡遺産のストーリーや関連文化財群の所在する地域の概要をまとめましょう)

(1) 自然・地理的環境

- ・市域は、中央部を流下した旧日川によって大きく2分されていると見ることができる。東側は、大宮台地の慈恩寺支台に位置し、岩付方面から伸びる伝鎌倉街道中道に沿って中世起源の寺社が並ぶ。
- ・西側は、大宮台地の白岡支台に位置し、武蔵七党の野与党鬼窪氏の本拠地であることから、やはり、中世起源の寺社が多い。

(2) 社会的環境

- ・鎌倉街道中道をもとに近世に整備された日光御成道は、現在県道さいたま幸手線として市域東部の交通の基幹となっている。
- ・白岡・篠津は、市域の中央部に位置し、白岡八幡宮や正福院、興善寺など古社、古刹の集まる地域で、現在の県道さいたま・栗橋線沿線にあたる。

(3) 歴史的背景

- ・慈恩寺支台側は、中世以来太田荘に属し、岩付太田氏等とのつながりが深い。
- ・白岡支台側は、騎西領に属し鬼窪氏ゆかりの館跡群から発すると思われる鎌倉街道といわれる道筋が存在する。

2 文化財総合把握調査(想定する白岡遺産のストーリーや地域に所在する文化財や文化資源を総合的に把握しましょう)

把握した文化財や文化資源	(1) ①建造物(構造物)	伝鎌倉街道中道、安楽寺、大徳寺、正傳寺、忠恩寺、高岩天満神社、上野田鷲神社、太田神社、一里塚、義理橋、往還橋、六兵衛橋、上野田浅間神社、米津氏手水鉢、入耕地館跡、鬼窪尾張繁政館跡、白岡八幡宮、正福院、興善寺、篠津久伊豆神社、中妻遺跡、神山遺跡
	②史跡・名勝	日光御成道、石橋(供養塔)、八幡宮のカヤ、イヌザクラ、正福院貝塚
	③有形文化財 (未指定文化財を含む)	安楽寺薬師如来坐像、安楽寺円空仏、忠恩寺山門、十三仏、九品仏、忠恩寺文書、大徳寺大日如来坐像、高岩天満神社絵馬、安楽寺十三仏龕、赤砂利遺跡和鏡、清左衛門遺跡道路状遺構、濱田家文書、澁谷岡彦家文書、鬼久保家文書、木造達磨大師、興善寺中世石造物群、白岡八幡宮鰐口、金銅仏、興善寺朱印状
	④無形文化財 (未指定文化財・まつり・行事を含む)	
	⑤集落・地名	大日沼、清左衛門、赤砂利、宮山、日川宮市、紅葉大門、大日、彦兵衛、堂磯、八幡磯、天神磯、タタラ山、鷹匠橋、金剛橋、鎌倉街道、実丁野、陣屋敷、陣屋山、岡屋敷、茶屋
	⑥言伝え・昔話	大徳寺の三十三間堂、大徳寺脇屋義助、大徳寺大日如来伝説、正傳寺開山様、正伝寺聖徳太子、野与道、赤池
	⑦人物	吉田将監、渋江兼重、太田資正、鬼窪氏、佐々木氏
	⑧生活文化 (衣食住・技・遊び・知恵)	
	⑨その他 (地域のお宝)	

(2)文化財・文化資源などの特徴と概要(文化財の歴史的・地理的な分布状況や、構造・様式的な特徴などをまとめましょう)

- ・中世起源の寺社や文化財は、「日川筋」を挟んで東側の慈恩寺支台側と西側の白岡支台側に大別できる。東側は、鎌倉街道中道を軸とした寺社及びその関連文化財群が目立ち、中世後期には、岩付太田氏との関係が強い。
- ・西側では、寺社はもちろんであるが、鬼窪氏の本拠地として、館跡が目立つ。交通路としては、荒川が使われたと考えられる。鬼窪氏のほか、菖蒲城佐々木氏の影響力も大きい。

3 地域の歴史文化の特徴(自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景及び文化財の概要・特徴を踏まえ、地域の歴史文化の特徴を簡潔にまとめましょう)

- ・市域の歴史文化を考えると、中世期に一つ大きなピークがある。旧日川は、太田荘と騎西領との境、星川をたどると、上流の菖蒲、騎西、忍へつながるルートが浮かび上がる。中世においても川筋が大きなキーワードとして浮かび上がる。

白岡遺産のストーリーづくりワークシート2

テーマ 用排水路と川の立体交差

1 地域の概要(想定する白岡遺産のストーリーや関連文化財群の所在する地域の概要をまとめましょう)

(1) 自然・地理的環境

- ・市域の西側蓮田市境を元荒川が、北側久喜市境を星川が流下する。また、かつては、市域のほぼ中央部を利根川水系の「日川」が南流していたことが知られている。
- ・市域には、大山地区の柴山沼、皿沼に代表される沼地や後背湿地が広く分布していた。

(2) 社会的環境

今日、圃場整備が行われ、田畑だけでなく、水路や道路の整備が行われ、農業環境は飛躍的に改善している。反面、田植えや稲刈り、水路の藻刈りなどを村の共同作業としておこなう気風は失われつつある。

また、近年は、農業後継者不足から休耕地が増えていることも問題である。

(3) 歴史的背景

江戸期の新田開発は、何回かの波があり、その都度市域でも連動した動きがある。初期の動きは、伊奈備前守が主導した河川改修、用排水整備など。2度目となる享保期の新田開発の影響が大きい。見沼、黒沼、笠原沼などの開発やこれに伴う用排水路整備である。

2 文化財総合把握調査(想定する白岡遺産のストーリーや地域に所在する文化財や文化資源を総合的に把握しましょう)

把握した文化財や文化資源	①建造物(構造物)	庄兵衛堰樁、柴山伏越、三十六間樋管、二十六間樋管、白石様堀、見沼代用水、黒沼用水、笠原用水、隼人堀川、姫宮落、備前堀、庄兵衛堀、山城堀、新堀
	②史跡・名勝	
	③有形文化財 (未指定文化財を含む)	日川水除堤争論裁許絵図、古川水除堤争論裁許絵図、堤土置争論裁許絵図、富士庫純一家文書、鬼久保家文書、細井昇家文書、澁谷園彦家文書
	④無形文化財 (未指定文化財・まつり・行事を含む)	川や、水路が集落の結界となることが多く、橋での道さきや災禍を流す行事、風習あり。篠津天王様ほか、あんばさま(高岩)
	⑤集落・地名	論所堤、名尻堤、荒井新田、彦兵衛新田、亥開、岡泉新田(日川新田)、千駄野(小久喜新田)、大沼(柴山沼)
	⑥言伝え・昔話	
	⑦人物	大河内金兵衛、戸田山城守、新井白石、伊奈備前守、井沢弥惣兵衛、山崎禮助、新兵衛・彦兵衛
	⑧生活文化 (衣食住・技・遊び・知恵)	ホツツケ、舟遊び、魚とり(釣)
	⑨その他 (地域のお宝)	川の立体交差

(2)文化財・文化資源などの特徴と概要(文化財の歴史的・地理的な分布状況や、構造・様式的な特徴などをまとめましょう)

- ・各用排水路はもちろん、これに伴う樋管などの構造物のほか、新田開発や、災害、争論の様子などを示す村方の古文書類や争論の裁許状や裁許絵図などが残り、水の恵みと災いにかかると地域独特の状況が浮き彫りにされる。歳月を重ねながら、人々が知恵を出しながら折り合いをつけてきた結果、多数の用排水路が網の目のように配され、ところどころで、水路が立体交差する状況も生じた。

3 地域の歴史文化の特徴(自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景及び文化財の概要・特徴を踏まえ、地域の歴史文化の特徴を簡潔にまとめましょう)

- ・勾配のゆるい土地で、排水の悪い後背湿地や沼地の多い地域に排水路を掘り、田畑を切り拓いてきた歴史がある。河川や用排水路の立体交差を行う土木技術や構造物も地域の特徴を示す。人々が難しい土地経営や治水利水の折り合いをつけるために残した裁許状や絵図も土地の性質を反映する歴史文化である。

白岡遺産のストーリーづくりワークシート3

テーマ 柴山沼と大山地区

1 地域の概要(想定する白岡遺産のストーリーや関連文化財群の所在する地域の概要をまとめましょう)

(1) 自然・地理的環境

- ・市域西部に当たる。エリア中央には柴山沼が位置し、南側に元荒川、北側に星川が流下する。
- ・柴山沼の西側(久喜市菖蒲町)には栢間堀が、東側にはかつて皿沼があった。
- ・外見上平坦で水田と梨園が広がる。柴山、荒井新田、下大崎の集落はそれぞれローム台地上に位置するが、関東造盆地運動によって沈降した埋没ローム台地である。

(2) 社会的環境

- ・梨産地として有名だが、後継者不足で作付面積減少。
- ・市街地から距離があり、人口の過疎傾向が続いている。
- ・農地が多い。圏央道白岡・菖蒲ICが置かれたことで、物流拠点としての活用が始まっている。

(3) 歴史的背景

- ・近世は、旗本領。柴田氏、天野氏、南条氏、川副氏など。
- ・明治22年の合併で大山村(大崎村の「大」と柴山村の「山」から命名)
- ・見沼代用水柴山伏越は有名。見沼通船の積み替え拠点橋戸を中心に栄えた。

2 文化財総合把握調査(想定する白岡遺産のストーリーや地域に所在する文化財や文化資源を総合的に把握しましょう)

把握した文化財や文化資源	(1) ①建造物(構造物)	柴山伏越、常福寺橋、水塚群、三十六間樋管、栢間堀、橋戸集落の建造物、野通川の水制工、旧大山小学校校舎、水塚
	②史跡・名勝	井沢弥惣兵衛分骨墓、柴山伏越
	③有形文化財(未指定文化財を含む)	柴山諏訪八幡神社奉納絵馬、下大崎住吉神社奉納絵馬、下大崎全龍寺欄間彫刻他、岡安良家金銅仏、岡安家・江原家等中島撫山墨跡、田口家文書(水争い裁許絵図)、荒井新田高札
	④無形文化財(未指定文化財・まつり・行事を含む)	柴山天王様、柴山おししさま、下大崎とうろう、ナイダー、お囃子
	⑤集落・地名	柴山、荒井新田、下大崎、橋戸、皿沼、陣屋、高札場、水神下、瀬、前沼、後沼、屋敷回、船着場、
	⑥言伝え・昔話	いっとこ団子、蛇女房、住吉神社の石額、七不思議
	⑦人物	井沢弥惣兵衛、山崎禮助、佐々木氏(菖蒲城主)、旗本南条氏、江原善兵衛
	⑧生活文化(衣食住・技・遊び・知恵)	魚とり、ほっつけ、揚舟、柴山おししさま、伏越の度胸試し
	⑨その他(地域のお宝)	柴山沼(大沼)、旧大山小学校校舎、梨、伏越

(2)文化財・文化資源などの特徴と概要(文化財の歴史的・地理的な分布状況や、構造・様式的な特徴などをまとめましょう)

- ・柴山沼を中心とする元荒川や星川の形成した沖積地や後背湿地に立地するため、絶えず排水に苦労してきた。このため、元禄水争い裁許絵図が残されているほか、柴山や荒井新田には水塚や揚舟が数多く残される。柴山沼の下流は、ローム台地によって区画され排水が良くない。下大崎では「蒔田」耕作も行われていたという。
- ・反面、小魚や藻など沼の恩恵を得てきた。梨生産が盛んな理由も、地下水位が高くみずみずしい梨が採れることによる。
- ・市域全体にいえるが、近世の新田開発の歴史の産物として用排水路が非常に多い。大山地区では、栢間堀や沼落堀、上田用水など生活に密着した水路が多いことも特徴。かつては、柴山沼に通じる専用水路を持つ

3 地域の歴史文化の特徴(自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景及び文化財の概要・特徴を踏まえ、地域の歴史文化の特徴を簡潔にまとめましょう)

- ・近世期の新田開発は、柴山沼や皿沼をめぐる開発の歴史と直結している。見沼代用水や栢間堀などの開削や「ほっつけ」など湿地開発を通して、水の災いから逃れ水の恵みを受ける暮らしが根付いた。見沼通船など舟運も人々の暮らしに大きな恩恵をもたらした。
- ・主産業である農業でも、稲作のほか、梨栽培が発達した。

白岡遺産のストーリーづくりワークシート4

テーマ 野牛地区と新井白石

1 地域の概要(想定する白岡遺産のストーリーや関連文化財群の所在する地域の概要をまとめましょう)

(1) 自然・地理的環境

- ・市域北部、久喜市境に当たる。旧日川流路とその自然堤防にあたる。
- ・広い後背湿地を使った稲作が盛ん。市内ではおいしいお米の産地として有名。
- ・「蓮河原」の地名が残る。古代ハス生育地。
- ・集落は、南北に細長い自然堤防上に立地。

(2) 社会的環境

- ・昭和62年にJR宇都宮線新白岡駅が開業。これに伴う区画整理事業の実施による急速な宅地化。地名の変更も行われる。
- ・地区の西側を東北自動車道、北側を圏央道が通過するほか東北新幹線の高架も通過する。
- ・都市計画道路野牛・柴山線開通により市外からも新白岡駅利用者が集まる。

(3) 歴史的背景

- ・18世紀初頭、旗本新井白石の領地となり、その後も新井氏領として幕末を迎える。
- ・新井白石の領地経営の影響が強く残り、白石様堀、郷倉などの遺跡とともに、多くの関連文化財が残る。
- ・日川周辺の後背湿地を開発するために、大小の排水路が多い。久喜市境には備前堀、寺塚・篠津境に姫宮落、地区内を斜行する白石様堀などのほかにも多くの水路が設けられた。

2 文化財総合把握調査(想定する白岡遺産のストーリーや地域に所在する文化財や文化資源を総合的に把握しましょう)

把握した文化財や文化資源	①建造物(構造物)	笠原用水、庄兵衛堀(堰枠)、日川、姫宮落、備前堀
	②史跡・名勝	殿様(白石様)堀、郷倉跡(記念碑)、久伊豆神社、観福寺(宝篋印塔・漂着神)
	③有形文化財 (未指定文化財を含む)	白石肖像画、久伊豆神社扁額・下書、直筆漢詩、折り焚く柴の記、久伊豆神社絵馬群、大久保家文書、石橋供養塔、道しるべ
	④無形文化財 (未指定文化財・まつり・行事を含む)	庚申講、御嶽講、おしっさま、筑後様まつり
	⑤集落・地名	野牛(柳生)、蓮河原、内舞台、橋場、散財、沖ノ前、内出、菖蒲田、石宮、南谷、中沖、藤井、北谷、稲荷田、中ノ宮
	⑥言伝え・昔話	鷹匠湯、片葉の葦
	⑦人物	新井白石、伊奈備前守
	⑧生活文化 (衣食住・技・遊び・知恵)	
	⑨その他 (地域のお宝)	古代蓮、石橋供養塔、道しるべ

(2)文化財・文化資源などの特徴と概要(文化財の歴史的・地理的な分布状況や、構造・様式的な特徴などをまとめましょう)

- ・開村は近世初期、南北に伸びる自然堤防を中心に集落が営まれ、村域中ほどに野牛久伊豆神社と観福寺がある。江戸中期に領主となった新井白石もこの社寺を尊崇していたものと思われ、同社の扁額は白石が正徳の朝鮮通信使製述官の李磻(イヒョン)に揮毫してもらったものである。観福寺には白石の肖像画が残されている。このほか、名主家に残された自筆の漢詩、折り焚く柴の記の写本などが残される。
- ・土地改良工事に伴って埋没種子から発生した古代ハスは、中の宮の蓮池で毎年見事な花を咲かせている。

3 地域の歴史文化の特徴(自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景及び文化財の概要・特徴を踏まえ、地域の歴史文化の特徴を簡潔にまとめましょう)

- ・日川流路に位置する野牛は、水利などの関係から、北隣の久喜市域の村々や、南隣の篠津村、寺塚村などとのつながりが深く、明治期以降も久喜や篠津と連携してきた。庄兵衛堀から灌漑用水を引く「庄兵衛堰」が篠津・野牛・高岩の3村境におかれたのも両村の共同意識の表れと考える。
- ・新井白石の新田開発により村高が上がり、救荒対策などを施した白石に対する強い尊敬の念は「筑後様まつり」として継承されてきた。途絶えていた祭りの復活は地域文化の興隆に大きく寄与するものと思われる。

白岡遺産のストーリーづくりワークシート5

テーマ 篠津の繁栄と教育

1 地域の概要(想定する白岡遺産のストーリーや関連文化財群の所在する地域の概要をまとめましょう)

(1) 自然・地理的環境

- ・市域中央北部に位置し、大宮台地白岡支台を中心に展開する。
- ・台地は、関東造盆地運動の影響を受け、北進するほど低くなる。久喜市境では標高11mほどとなる。
- ・台地西側は、荒川水系の元荒川と星川が、東側は利根川水系の日川が流下する。両水系の最接近地点にあたる。

(2) 社会的環境

- ・昭和40年代初頭に県道大宮（現さいたま）・栗橋線が開通。地区西側の水田域は区画整理が行われ、住宅街と商業区域に変貌を遂げた。
- ・台地上の集落部分も土地区画整理事業の対象となっていたが、昭和末逆線引きとなる。
- ・地区の東側に広がる水田地帯は、耕作放棄地が目立ち始めている。

(3) 歴史的背景

- ・台地上には、旧石器時代からの人々の暮らしの痕跡が残される。奈良・平安時代に製鉄遺跡が営まれた。
- ・鉄生産と荒川、利根川両水系の結節点であることから、中世初頭までには、野与党鬼窪氏が土着し白岡地域を含む中世の興隆期を迎える。
- ・江戸期は、日光街道粕壁宿と中山道鴻巣宿とを結ぶ脇往還の町場として栄えるとともに、元荒川の水運を利用して、近郊の木綿流通の拠点となった。
- ・幕末には、木綿問屋「篠川」の財力を背景に、久伊豆神社の社殿彫刻や各耕地に残されている豪華な彫刻の5台の山車などが作られ、地域の中心に成長する。

2 文化財総合把握調査(想定する白岡遺産のストーリーや地域に所在する文化財や文化資源を総合的に把握しましょう)

把握した文化財や文化資源	(1) ①建造物(構造物)	篠津久伊豆神社、栢間堀、高台橋、二十六間樋管、黒沼用水、伏越橋、道中橋
	②史跡・名勝	高台橋の菜の花、浅間様、茅野の渡し、中妻遺跡
	③有形文化財 (未指定文化財を含む)	篠津久伊豆神社社殿、篠津天王様の山車（5台）・神輿、観音堂笠付地藏、菱沼溪斎碑文、知足霊神之碑、元禄5年庚申塔、立川金禄の軍鶏、円空仏、大野家文書、
	④無形文化財 (未指定文化財・まつり・行事を含む)	篠津天王様、庚申講、初山、
	⑤集落・地名	上宿、横宿、宿、下宿、神山、中妻、馬立、姥神、志部、追出、四本木、野与道、
	⑥言伝え・昔話	西光院の狸、ねずみ浄土、慈照院はチンピロリン、赤池、馬立、御多羅世
	⑦人物	鬼窪氏、菱沼、立川音吉（芳）、立川金禄、大野雅山
	⑧生活文化 (衣食住・技・遊び・知恵)	
	⑨その他 (地域のお宝)	篠津天王様、大野塾

(2)文化財・文化資源などの特徴と概要(文化財の歴史的・地理的な分布状況や、構造・様式的な特徴などをまとめましょう)

- ・篠津は、荒川水系と利根川水系が最接近する位置にあり、河川の砂鉄を原料とした鉄生産が興り、河川交通の要衝としての価値に着目した鬼窪氏が本拠としたことで、中世期には、台地西側を中心に館や寺院が並ぶ。近世になっても街道を結ぶ町場として、さらに物流拠点の一つとしての位置を確立していく。富の象徴は、久伊豆神社や天王様の山車彫刻に表れている。また、人が集まることで学問が盛んになり大野塾を生む。大野塾は近隣から塾生を受け入れ、近代の学制施行後の篠津学校へと続く。

3 地域の歴史文化の特徴(自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景及び文化財の概要・特徴を踏まえ、地域の歴史文化の特徴を簡潔にまとめましょう)

- ・篠津の歴史は、河川からの恵み、河川交通と陸上交通などの流通の恵みを得たものであるといえる。古代から連綿と続く人々の営みが、「河川」「流通」「交流」などのキーワードでくることが出来る。
- ・市域の村々の中核であり、近・現代の自治体合併の歴史の中でも常に中心を占める。「流通」「交流」に立脚したものと理解することができる。

白岡遺産の作り方講座ワークシート

テーマ 小久喜ささら獅子舞

1 考えられるキーワードとそのグルーピング

(1) 指定文化財

・小久喜の獅子舞（無形）

・小久喜の獅子舞 隠居獅子頭及び天狗面（有形）

(2) 構成要素

・小久喜久伊豆神社
・神楽殿
・小麦饅頭
・道化役の天狗
・舞と笛との連携（合図・呼吸）
・のぼり
・土俵作り（縄張り等）
・舞台の竹の笹
・花作り
・獅子頭
・衣装
・笛の音と拍子木のタイミング

・舞のストーリー
・舞の流れ（練習）
・獅子連中親方申送記
・笛
・笛の楽譜
・ささら
・伝承に関する記録文書
・おどりの伝承（舞い方）
・深作から伝来
・雨乞い伝承（泣きささら）
・クンキ沼
・農家（業）のまつり

(3) 課題

・南小学校との連携
・後継者育成
・舞の語り手（説明員）
・口伝
・記録映像
・祭礼（舞・笛）の客観化
・小学校用の道具（笛・獅子頭）

・人材の確保
・内容（演目等）に対する理解
・指導者
・モーションキャプチャー
・最後まで見てもらえるために
・合間や終了後に歌や芝居を入れる

2 保存活用に関する方針

(1) 現状と課題

- ・舞の所作や笛の音程等が不安定で、伝承活動の妨げとなっています。
- ・南小学校出の指導者の交代に伴い、指導方針の確認が必要です。
- ・行事や演目に対する理解に不十分な部分がみられます。
- ・効果的な情報発信の在り方について検討が行われていません。

(2) 基本方針

- ・舞の所作や笛の楽譜等の記録を残し、祭礼の客観化に努めます。
- ・南小学校郷土研究クラブでの指導方針を整理し、学校との連携を深めるとともに、後進の育成を進めます。
- ・奉納時における効果的な解説方法を確立し、地域住民への行事や演目に対する理解を進めます。
- ・様々な手法による効果的な情報発信に努め、行事の重要性の共通理解を進めます。

3 具体的事業計画

- ・動画撮影による記録映像を作成します。
- ・南小学校郷土研究クラブの活動で使用する笛や獅子頭等の道具を揃えます。
- ・南小学校郷土研究クラブの活動にあたり、練習用の記録音声や動画を作成し練習環境を整えます。
- ・行事や演目に関する解説資料の配布や、電子媒体による情報を発信します。
- ・関連事業の開催やお祭り 縁の小麦まんじゅうの販売等を検討します。

●第4章2(3)①市指定文化財の修繕等 過去10年間の指定文化財関係補助金の交付履歴

年度	保存管理団体	文化財名称	事業名	補助率
平成27年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	山車提灯の張り替え	1/3
	小久喜さら獅子舞保存会	小久喜の獅子舞	小久喜さら獅子舞で用いる提灯の新規作成	1/3
平成28年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津久伊豆神社	篠津久伊豆神社本社殿	本社殿白蟻防除工事	1/2
平成29年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津宿文化財保存会	篠津天王様の山車・宿耕地	山車提灯の補充	1/3
	下宿文化財保存会	篠津天王様の山車・下宿耕地	山車提灯の補充	1/3
平成30年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
令和元年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	提灯張り替え	1/3
	白岡新田耕地天王様保存会	牛頭天王様祭礼用具一式付収納箱	獅子頭下顎修理	1/3
令和3年	小久喜さら獅子舞保存会	小久喜の獅子舞 隠居獅子頭及び天狗面	保存展示用ケースの製作	1/2
	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	山車車軸摩耗による交換	1/3
令和4年	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
令和5年	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
令和6年	小久喜さら獅子舞保存会	小久喜の獅子舞	獅子舞の舞座の正面に掲げる提灯の新規作成	1/3
	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3
令和7年	篠津神山山車保存会	篠津天王様の山車・神山耕地	山車提灯の補充	1/3
	篠津横宿山車保存会	篠津天王様の山車・横宿耕地	山車提灯の補充	1/3

●第4章 2(4)①生涯学習講座 過去10年間の文化財関係の生涯学習講座（一般対象）一覧

開催年度	講座名	内容	実績
平成 28 年	ペアーズアカデミー「歴史学」ジャンル	掘り起こされた白岡の原始・古代	4 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	社寺の歴史と文化を学ぶ1	4 回
平成 29 年	ペアーズアカデミー「しらおか学」ジャンル	社寺の歴史と文化を学ぶ1	4 回
	フライデーナイトペアーズ	縄文時代の白岡（少人数講座）	3 回
平成 30 年	ペアーズアカデミー「しらおか学」ジャンル	埼玉東部の民俗	4 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	縄文時代人の道具と暮らし	3 回
令和元年	ペアーズアカデミー「歴史学」ジャンル	埼玉古墳群を知る	2 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	絵馬に託した祈りと願い～白岡の大絵馬・小絵馬～	4 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	①縄文人の生活環境～特に植物利用を中心に～ ②国家形成期の白岡～原始から古代へ、古代から中世へ～ ③江戸時代の庶民の暮らし	3 回 3 回 3 回
令和 2 年	ペアーズアカデミー「しらおか学」ジャンル	石仏を知る	2 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	縄文実験考古学～打製石斧を作る～	3 回
令和 3 年	ペアーズアカデミー「歴史学」ジャンル	白岡市の歴史と文化財	1 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	①疫病を乗り越えるための人々の祈り ②白岡市の「地名」を知る	2 回 2 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	①鉄の古代史 ②縄文実験考古学 2～縄文時代の装身具を作る～ ③近世の古文書から見る白岡	3 回 3 回 3 回
令和 4 年	ペアーズアカデミー「歴史学」ジャンル	遺跡について 人々の暮らしと人形について	2 回 1 回
	〃 「連携講座」ジャンル	企画展との連携講座	3 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	白岡について学ぶ	3 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	①縄文時代の考古学～縄文土器の文様を読み解く～ ②発掘調査からたどる鬼窪氏の足跡 ③近世文書から見る白岡～みんなで一緒にお伊勢参り～	3 回 3 回 3 回
令和 5 年	ペアーズアカデミー「連携講座」ジャンル	企画展との連携講座	3 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	河川について	3 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	①白岡の古墳時代の始まり～古墳のない白岡の古墳出現期～ ②学ぼう白岡遺産 ③災害と疫病@白岡～江戸時代・近代の記録から～	3 回 3 回 3 回
令和 6 年	ペアーズアカデミー「連携講座」ジャンル	企画展との連携講座	3 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	年中行事	4 回
	ミュージアム・ゼミナール（少人数講座）	①実験考古学講座～磨製石斧作り～ ②俳諧と白岡～江戸・明治期の俳諧事情～ ③都鳥が見た古代～埼玉県東部地区の奈良時代・平安時代～	3 回 3 回 3 回
令和 7 年	ペアーズアカデミー「連携講座」ジャンル	企画展との連携講座	3 回
	〃 「しらおか学」ジャンル	白岡の伝説と民話	3 回

* ペアーズアカデミー：パレット型の生涯学習体系「ペアーズしらおか」の基幹講座。ペアーズは特産の梨（Pear）になぞらえたもの。

過去 10 年間の文化財関係の生涯学習講座（児童・生徒・親子対象）一覧

開催年度	講座名	内容	実績
平成 27 年	知ってさわって縄文講座	ドングリクッキーを作ろう	1 回
平成 28 年	知ってさわって縄文講座	網代編みで籠を作ろう	1 回
平成 29 年	知ってさわって縄文講座	まが玉ペンダントを作ろう	1 回
平成 30 年	親子おもしろミュージアム	まゆだまだんご作り	1 回
令和元年	親子おもしろミュージアム	手作り天体望遠鏡で「お月見」	1 回
令和 3 年	親子おもしろミュージアム	縄文アクセサリを作ろう	1 回
令和 4 年	親子おもしろミュージアム	藍のたたき染め教室、だるまさんを作ろう	2 回
令和 5 年	親子おもしろミュージアム	藍のたたき染め教室、まが玉づくり	2 回
令和 6 年	親子おもしろミュージアム	藍のたたき染め教室、だるまさんを作ろう	2 回
令和 7 年	親子おもしろミュージアム	藍のたたき染め教室、まゆ玉でおひな様を作ろう	2 回

●第 4 章 2 (4) ② 出前講座 過去 10 年間の出前講座一覧

開催年度	講座名	内容	主催者	回数
平成 28 年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	2 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	母子愛育会ほか	3 回
平成 29 年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	2 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	母子愛育会ほか	6 回
平成 30 年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	1 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	大山塾ほか	7 回
令和元年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	1 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	母子愛育会ほか	7 回
令和 2 年	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	白岡の歴史を語る会	1 回
令和 3 年	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	白岡の歴史を語る会	3 回
令和 4 年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	1 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	白岡の歴史を語る会	1 回
令和 5 年	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	埼玉民俗の会ほか	4 回
	指導者派遣	柴山沼の総合的学習等	大山小学校ほか	2 回
令和 6 年	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	南地区民生委員・児童委員協議会ほか	3 回
	指導者派遣	タタラ山遺跡と花積下層式土器等	春日部市郷土資料館ほか	4 回
令和 7 年	白岡めぐり	市内の寺社・文化財の解説	市観光協会	1 回
	職員出前講座	市内の文化財解説や史跡巡り等	須賀神社神輿保存会ほか	4 回
	指導者派遣	昔の道具の解説等	菁莪小学校ほか	3 回

●第4章 2(4) ③展示施設での普及事業 歴史資料館の企画展示一覧

開催年度	展覧会名	内容	会期
平成 30 年	白岡の至宝～護り伝える地域の文化～	指定文化財を中心に一部指定候補資料を加えた展示	H30.10.1～12.16
令和元年	子供たちの暮らし～育ち・遊び・学ぶ～	民俗・歴史・考古各分野横断的に資料を収集、館蔵資料中心の展示	R1.9.3～10.18
令和 2 年	みんなで護ろう！白岡遺産 ～鎌倉街道中道編～	白岡遺産ワークショップの成果から、鎌倉街道中道沿いの文化財を取り上げた展示	R2.10.13～11.27
令和 3 年	白岡の昔話・伝説～語り継がれる白岡遺産～	無形の文化財の保存と活用を目的とし「昔話や伝説」を取り上げた展示	R3.10.12～11.26
令和 4 年	商店街のお宝発見！ ～記憶の中の白岡遺産～	暮らしの中の日用品を取り上げ、「商店街」というキーワードで結んだ展示	R4.10.10～11.25
令和 5 年	願いごとかないますように！ ～祈りとまじないの白岡遺産～	日常の中の祈りやまじないに関わる資料を分野横断的に取り上げた展示	R5.10.9～11.25
令和 6 年	暮らしを支えた木綿と生糸 ～紡ぎ、織りなす白岡遺産～	綿花栽培や養蚕に関わる資料を取り上げた展示	R6.10.14～12.1
令和 7 年	感じて！縄文土器の温もり ～掘り起こされた白岡遺産～	市内出土の縄文土器を取り上げ、土器を使った縄文人とその生活に迫る展示	R7.10.13～11.30

歴史資料館の季節展示一覧

開催年度	展覧会名	内容	会期
令和元年	変わってきた人々の暮らし	小学校 3 年生総合学習に対応した展示	H2.2.5～28
	ひな人形とひな道具	ひな祭に対応した展示	R2.2.28～4.3
令和 2 年	疫病退散～伝染病と闘いの歴史～	疫病歴史に関する展示	R2.7.18～8.30
令和 4 年	白岡の茶栽培	茶栽培の歴史に関する展示	R4.4.29～6.4
令和 4 年	白岡駅のあゆみ～開設 111 周年を経て～	白岡駅開設前後の歴史に関する展示	R4.9.10～10.16
令和 5 年	白岡の古墳時代の始まり ～古墳のない白岡の古墳出現期～	市域とその周辺古墳時代前期に関する展示	R5.7.8～8.13
	白岡の縄文土器とその世界 ～タタラ山遺跡の〔縄文コード〕～	タタラ山遺跡に関する展示	R5.11.14～R6.1.14
令和 6 年	近世の白岡領主 ～旗本川副氏を知っていますか？～	川副氏に関する展示	R6.4.27～6.2
	祝！白岡町誕生 70 周年	三村合併に関する展示	R6.7.27～9.8
	中妻遺跡から見た古代 ～白岡の奈良時代・平安時代～	中妻遺跡に関する展示	R6.12.7～R7.3.14
令和 7 年	暮らしの中の戦争～戦時下の白岡～	銃後の暮らしに関する展示	R7.8.3～9.15
	今年は午年 何事もウマくいくように	馬にまつわる祈りと祝いに関する展示	R8.1.16～2.28

過去5年間の定例展示解説会「ハNZ・オン・デI」一覧

開催年度	内容	回数	備考
令和3年	俵上げ選手権大会！	2回	
	本物の縄文土器にさわってみよう！	2回	こもれびの森まつり
	土器や石器をマイクロスコープで調べてみよう	2回	
	おしゃもじを奉納してコロナに打ち勝つ	2回	企画展タイアップ
	綿繰り機をまわして木綿を採ろう！	2回	
	鉄淬って何だろう？	2回	
	縄文あずきのぜんざいで無病息災	2回	
	わらぐつの履き心地はいかが？	2回	
	大吉だよ！歴展おみくじ引いてみな！	2回	
令和4年	舞ぎりで火起こしに挑戦！	2回	
	新茶はいかが？	2回	季節展示タイアップ
	七夕の願いごとはなあに？	2回	
	誰でも簡単！丸うちわ	2回	
	夏休みミュージアムクイズラリーに挑戦	2回	
	出発進行！白岡駅	2回	季節展示タイアップ
	企画展展示解説	2回	
	歴展クロスワードパズル！	2回	
	ドングリクッキー試食会	2回	こもれびの森まつり
	開運！絵馬を奉納しよう	2回	
	双六で遊ぼう！	2回	
	縄文アズキのあんこ試食会	2回	
令和5年	古銭模様の缶バッジを作ろう	2回	
	いろいろなはかりで重さを測ってみよう	2回	
	昔の雨具を体験してみよう	2回	
	古墳時代の土器に触れてみよう	2回	季節展示タイアップ
	アイロン今昔物語	2回	
	米俵をもってみよう	2回	
	企画展展示解説	2回	
	ミュージアムクイズ、あんぎん編みコースター作り	2回	こもれびの森まつり
	ドングリについて知ろう	2回	
	縄文アズキのお汁粉試食会	2回	
	昔の道具・電話編	2回	
	はおってみよう！消防半纏	2回	
令和6年	舞ぎりで火起こしに挑戦！	2回	
	篠竹鉄砲で遊んでみよう！	2回	
	七夕の願いごとはなあに？	2回	
	誰でも簡単！丸うちわ	2回	
	縄文時代の「浮子」は本当に浮か？	2回	

開催年度	内容	回数	備考
令和6年	マイクロスコープで資料を見てみよう	2回	
	企画展展示解説	2回	
	ミュージアムクイズ、あんぎん編みコースター作り	2回	こもれびの森まつり
	綿繰り機で木綿を採ろう！	2回	
	願いを込めて絵馬を掛けよう！	2回	
	昔の道具・薬研を使ってみよう！	2回	
	紡錘車って何だろう？	2回	
令和7年	石皿と叩き石でクルミを割ってみよう！	2回	
	大吉だよ！資料館おみくじひいてみな！	2回	
	七夕の願いごとはなあに？	2回	
	石臼で大豆を挽いてきなこを作ろう！	2回	
	写真で見る白岡の昭和百年	2回	季節展示タイアップ
	粘土で干菓子の型抜き	2回	
	企画展展示解説	2回	
	ミュージアムクイズ、あんぎん編みコースター作り	2回	こもれびの森まつり
	はおってみよう！消防半纏	2回	
	願いを込めて絵馬を掛けよう！	2回	
	釣瓶井戸ってどんなしくみ！？	2回	
	黒曜石で肉を切ってみよう！	2回	

過去に開催した文化財関連展示会一覧

開催年度	展示会名	会場	会期
平成9年	立川金禄展～現代地方仏師の技と芸術～	中央公民館講堂	H9.8.21～26
平成10年	縄文の造形―芸術の源流を訪ねて―	中央公民館講堂	H10.8.22～30
平成11年	中世の白岡とその周辺―中世遺跡の発掘成果から―	中央公民館講堂	H11.9.2～14
平成12年	写真でみる白岡町のいま・むかし	中央公民館講堂	H12.8.17～29
平成15年	野牛領主新井白石と朝鮮通信使	中央公民館講堂	H15.8.21～26
平成16年	町制施行50周年記念展 写真で見る白岡の文化財	中央公民館講堂	H16.8.26～31
平成21年	開設100年！写真で見る白岡駅	白岡駅町民ミニギャラリー	H21.1.29～2.17
平成22年	白岡の祭礼	白岡駅町民ミニギャラリー	H22.2.10～27
平成23年	写真展 発掘物語しらおか	白岡駅町民ミニギャラリー	H23.2.6～14
平成24年	市制施行記念 白岡市の指定文化財展	はびすしらおか	H24.9.25～10.1
平成25年	パネル展 新井白石と白岡	白岡駅市民ミニギャラリー	H25.2.25～3.5
	埋蔵文化財ミニ展示 中妻遺跡出土品	市庁舎ミニ展示コーナー	H25.4 ～通年
平成28年	埋蔵文化財ミニ展示 入耕地遺跡出土品	市庁舎ミニ展示コーナー	H28.4 ～通年
令和7年	新井白石没後300年記念巡回展 新井白石の村政～野牛領主としての横顔～	歴史資料館	R7.4.27～6.1
		白岡駅市民ミニギャラリー	R7.8.21～9.9
		中央公民館ショーケース	R7.9.11～30

他機関への出品・貸出、資料提供等 過去5年間の出品・貸出、資料利用・提供等一覧

開催年度	提供形態	資料名等	貸出・提供先	件数
令和3年	資料出品・貸出	小絵馬ほか	正傳寺ほか	3件
	資料利用・提供	紙本着色新井白石画像(写真)ほか	日本テレビほか	3件
令和4年	資料出品・貸出	足踏み脱穀機ほか	大山小学校ほか	3件
	資料利用・提供	昭和34年の駅前商店街の写真ほか	テレビ埼玉ほか	6件
令和5年	資料出品・貸出	鶴巻遺跡出土土器	春日部市郷土資料館	1件
	資料利用・提供	紙本着色新井白石画像(写真)ほか	吉川弘文館ほか	7件
令和6年	資料出品・貸出	前田遺跡出土ミズク土偶ほか	さいたま市岩槻郷土資料館ほか	4件
	資料利用・提供	紙本着色新井白石画像(写真)ほか	読売新聞ほか	8件
令和7年	資料出品・貸出	鶴巻遺跡出土土器	春日部市郷土資料館	1件
	資料利用・提供	紙本着色新井白石画像(写真)ほか	ミネルヴァ書房ほか	9件

●第4章2(4)④教育普及資料の作成 過去に作成した主な教育普及用資料一覧

発行年度	資料名	部数	備考
平成8年	白岡町遺跡マップ	3,000部	
平成9年	立川金禄展 図録	300部	
平成10年	縄文の造形展 図録	300部	
平成11年	中世の白岡とその周辺展 図録	300部	
	大むかしの白岡 旧石器・縄文時代編	4,500部	市内各小学校に配布
	白岡町遺跡マップ	3,000部	H8 初刷 改訂版
平成12年	写真でみる白岡のいま・むかし展 図録	500部	
	大むかしの白岡 弥生～平安時代編	4,500部	市内各小学校に配布
平成13年	大むかしの白岡 中世編	4,500部	市内各小学校に配布
	白岡町歴史ハイキングマップ	2,000部	
平成14年	白岡町遺跡マップ	3,000部	H8 初刷 3訂版
平成15年	野牛領主新井白石と朝鮮通信使展 図録	500部	
平成16年	写真で見る白岡の文化財展 図録	500部	
平成18年	白岡町歴史ハイキングマップ	3,000部	H13 初刷 改訂版
平成20年	タタラ山遺跡と縄文人の暮らし	500部	報告会資料
平成22年	「開設100年！写真で見る白岡駅」図録	500部	
平成24年	白岡市の指定文化財展 図録	2,000部	市写真連盟協力
	中島撫山と白岡	1,000部	
平成25年	白岡市遺跡マップ	3,000部	新装版
平成28年	白岡市遺跡マップ	1,000部	H25 改訂版
平成30年	白岡の至宝展 図録 ―白岡ミュージアムブックレット1―	300部	

発行年度	資料名	部数	備考
令和元年	子供たちの暮らし展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット2ー	300部	
令和2年	みんなで護ろう！白岡遺産展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット3ー	300部	
令和3年	白岡の昔話・伝説展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット4ー	300部	
	白岡遺産マップ	2,000部	
令和4年	商店街のお宝発見！展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット5ー	300部	
令和5年	願いごとかないますように！展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット6ー	300部	
	未来の白岡 絵画作品集 ー白岡ミュージアムブックレット7ー	600部	
	白岡市遺跡マップ	2,000部	H25 初版 3 訂版
令和6年	暮らしを支えた木綿と生糸展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット8ー	300部	
	鎌倉街道と幻の川「日川」 ー白岡遺産セルフガイドブック1ー	2,000部	
令和7年	感じて！縄文土器の温もり展 図録 ー白岡ミュージアムブックレット9ー	300部	
	二つの川筋を背景に勢力を伸ばした鬼窪氏 ー白岡遺産セルフガイドブック2ー	2,000部	

歴史資料館調査報告書等一覧

発行年度	資料名	部数	備考
平成30年	紀要1	300部	歴史資料展示室調査研究報告等
令和元年	紀要2	300部	〃
令和2年	紀要3	300部	〃
令和3年	紀要4	300部	〃
令和4年	紀要5	300部	〃
令和5年	紀要6	300部	〃
令和6年	紀要7	300部	歴史資料館調査研究報告等
令和7年	紀要8	300部	〃

●第4章2(4)⑤学校教育との連携 過去10年間の歴史学習支援事業一覧

開催年度	内容	学校名	対象学年	回数
平成27年	縄文から歴史時代までの通史	南小学校	6年生	1回
	かわってきた人々の暮らし	西小学校	3年生	1回
	地域のお祭りの様子	菁莪小学校	3年生	3回
平成28年	縄文時代から弥生時代	白岡東小学校	6年生	1回
	古い道具と昔の暮らし・地域のお祭りの様子	西小学校	3年生	2回
平成29年	古い道具と昔の暮らし・地域のお祭りの様子	西小学校	3年生	2回
	古い道具と昔の暮らし・地域のお祭りの様子	南小学校	3年生	2回
	地域のお祭りの様子	白岡東小学校	3年生	1回
平成30年	古い道具と昔の暮らし・地域のお祭りの様子	西小学校	3年生	2回
令和元年	古い道具と昔の暮らし	西小学校	3年生	1回

開催年度	内容	学校名	対象学年	回数
令和2年	地域のお祭りの様子	南小学校	3年生	1回
令和5年	縄文～古墳時代の資料に触れる	南中学校	1年生	1回
	昔の柴山沼について知る・古い道具と昔の暮らし	大山小学校	3年生	2回
令和6年	古い道具と昔の暮らし	菁莪小学校	全校	1回
令和7年	縄文時代・弥生時代の人々の暮らし	白岡中学校	1年生	1回
	古い道具と昔の暮らし	白岡東小学校	3年生	1回

●第4章2(4)⑥図書館との連携 過去10年間の図書館連携事業一覧

開催年度	事業名	内容	実績
平成28年	図書館歴史講座	古文書にみる白岡の歴史～白岡に大洪水はやってくる?～	2回
平成29年	図書館歴史講座	古文書にみる白岡の歴史	2回
平成30年	図書館歴史講座	①正徳の柴山沼絵図 ②鷹狩絵図	2回
	図書企画展示	歴史資料展示室開催講座に合わせた図書展示	2回
令和元年	図書館歴史講座	①『新編武蔵風土記稿』を読む ②昔はそうだった常識・非常識～こんなに違う白岡の田んぼと畑～ ③白岡の江戸時代を伝える資料～石塔・古文書を調べてみたら～	3回
	図書企画展示	歴史資料展示室企画展示に合わせた図書展示	1回
令和2年	図書館企画展示	歴史資料展示室企画展示に合わせた図書展示	1回
令和3年	図書館歴史講座	「白岡の道」を知る～鎌倉街道中道と日光御成道～	2回
	図書館企画展示	歴史資料展示室企画展示に合わせた図書展示	1回
令和4年	図書館歴史講座	史料から見た「白岡」～地域と地名を考える～	3回
	図書館企画展示	歴史資料展示室企画展示に合わせた図書展示	1回
令和5年	図書館歴史講座	誰でもアクセスできる史料から見た江戸時代の白岡 ～国立公文書館・国会図書館のデジタルアーカイブを中心に～	2回
	図書館企画展示	歴史資料展示室企画展示に合わせた図書展示	1回
令和6年	図書館歴史講座	白岡市と近隣の古文書で見る江戸時代	2回
	図書館企画展示	歴史資料館企画展に合わせた図書展示	1回
令和7年	図書館歴史講座	近世白岡の領主たち	2回
	図書館企画展示	歴史資料館企画展に合わせた図書展示	1回

●第4章2(4)⑦市民団体との連携 文化財一般公開一覧

開催年度	事業名	参加人数	会場	備考
令和5年	青雲寺木造阿弥陀如来坐像一般公開	126人	青雲寺(篠津)	午前2回、午後2回開催
令和6年	安楽寺文化財一般公開	113人	安楽寺(太田新井)	午前2回、午後2回開催
令和7年	野牛地区文化財一般公開	39人	観福寺(野牛)	午後2回開催

●第4章2(4)⑧東部地区文化財担当者会巡回展 東部地区文化財担当者会等巡回展一覧

開催年度	展示会名	会場	会期	備考
平成13年	埼玉のまつり・行事	中央公民館講堂	H13.8.28～9.4	
平成18年	埼玉の酒文化	市庁舎1階市民ラウンジ	H18.11.17～30	
平成21年	埼玉の遺跡	市庁舎1階市民ラウンジ	H21.8.10～21	
平成22年	埼玉の偉人	市庁舎1階市民ラウンジ	H22.11.8～19	県巡回展受け入れに併せ町内の人物も展示
平成26年	埼玉・北埼玉の水塚	市庁舎1階市民ラウンジ	H26.10.1～14	
平成29年	埼玉県東部地区の交通	市庁舎1階市民ラウンジ	H29.9.8～10.10	
令和6年	埼玉県東部地区の 奈良時代・平安時代	歴史資料館企画展示室	R7.3.15～4.8	

●第4章2(4)⑨発掘調査現地見学会等 過去10年程度の間に開催した発掘調査現地見学会等一覧

開催年度	事業名	対象	参加人数	備考
平成20年	タタラ山遺跡発掘調査報告会	一般		
平成21年	清左衛門遺跡第4地点現地説明会	一般	150人	県埋文共催
	清左衛門遺跡第4地点体験発掘教室	菁莪小6年生	70人	
平成22年	沖山西遺跡第1地点現地説明会	南小6年生	120人	
	清左衛門遺跡第5地点親子発掘体験教室	親子	20人	県埋文共催
平成23年	清左衛門遺跡第7地点現地説明会	一般	139人	
平成24年	赤砂利遺跡第8地点現地説明会	一般	146人	県埋文共催
令和3年	入耕地遺跡第16地点現地説明会	一般	39人	

●第4章2(4)⑩文化財解説板の設置

既設の文化財解説板一覧

No	タイトル	設置主体	設置年月	備考
1	柴山沼	白岡市	昭和58年3月	
2	諏訪八幡神社	白岡市	昭和58年3月	
3	柴山伏越	白岡市	昭和59年3月	
4	柴山観音堂	白岡市教育委員会	平成11年1月	
5	野通川と隼人堀川の立体交差・見沼代用水と隼人堀川の立体交差	白岡市観光協会	平成28年2月	地図付
6	柴山伏越改造之碑(要約)	白岡市観光協会	平成31年2月	
7	井澤弥惣兵衛為永の墓	見沼土地改良区	平成11年	
8	見沼代用水路の概要	見沼土地改良区・水資源機構		写真・地図付
9	見沼代用水路ってな～に	水資源機構		地図付
10	白岡市立大山民俗資料館	白岡市	昭和58年3月	
11	下大崎住吉神社	白岡市教育委員会	平成11年1月	
12	皿沼遺跡	白岡市教育委員会	令和4年3月	写真付
13	新井白石と野牛	白岡市	平成29年3月	写真・地図付
14	野牛久伊豆神社と新井白石	白岡市教育委員会	平成12年2月	
15	庄兵衛堰柵	白岡市教育委員会	平成13年1月	
16	新井白石公所領倉屋敷跡記念碑	白岡市教育委員会	平成26年3月	写真付
17	白石様堀	白岡市教育委員会	平成27年3月	地図付
18	江戸時代 野牛村と呼ばれた当地は新井白石公がおさめていました	白岡市・白岡市観光協会	令和8年3月	写真付
19	忠恩寺九品仏	白岡市教育委員会	令和4年3月	
20	忠恩寺	白岡市教育委員会	平成12年2月	
21	高岩天満神社	白岡市教育委員会	平成18年2月	写真付
22	鎌倉街道と高岩・野田の市	白岡市観光協会	令和2年12月	地図付
23	篠津久伊豆神社と山車	白岡市	昭和58年3月	
24	黒沼用水の伏越橋と掛樋	見沼土地改良区		イラスト付
25	須賀神社と篠津天王様	白岡市教育委員会	令和4年3月	
26	星川と隼人堀川の立体交差	白岡市観光協会・白岡市	平成29年2月	地図付
27	篠津宿	白岡市観光協会	令和2年2月	地図付
28	白岡八幡宮	白岡市	昭和58年3月	
29	正福院	白岡市	昭和58年3月	
30	興善寺	白岡市	昭和58年3月	
31	茶屋遺跡	白岡市教育委員会	平成13年6月	写真付
32	牛頭天王社と新田の天王様	白岡市教育委員会	平成17年3月	写真付
33	正福院貝塚	白岡市教育委員会	平成22年12月	
34	南埼玉藩組合記念碑	白岡市教育委員会	平成29年2月	写真付
35	茅野の渡し	白岡市教育委員会	昭和16年3月	地図付
36	八幡の渡しと八幡橋	白岡市教育委員会	昭和16年3月	写真付
37	寿楽院	白岡市	昭和58年3月	
38	小久喜・白岡・西地区の鎌倉街道	白岡市観光協会	令和4年2月	写真・地図付
39	久伊豆神社と小久喜ささら獅子舞	白岡市	昭和58年3月	
40	白岡駅と車站之碑	白岡市教育委員会	平成13年6月	写真付
41	沖山遺跡	民間企業・白岡市教育委員会	平成8年	
42	幻の川 日川	白岡市観光協会	令和5年3月	地図付
43	実ヶ谷久伊豆神社	白岡市教育委員会	平成10年2月	
44	円空作薬師如来坐像	白岡市教育委員会	平成17年3月	写真付
45	正傳寺	白岡市教育委員会	令和4年3月	
46	大徳寺	白岡市教育委員会	平成12年2月	
47	上野田鷲宮神社	白岡市教育委員会	平成15年3月	図付
48	一里塚	白岡市教育委員会		
49	下野田鷲宮神社	白岡市教育委員会・白岡市観光協会	令和7年2月	
50	諏訪神社	白岡市教育委員会	昭和63年3月	
51	高岩落川と百間用水路の立体交差	白岡市観光協会	令和2年12月	地図付
52	姫宮落川と百間用水路の立体交差	白岡市観光協会	令和2年2月	地図付
53	安楽寺	白岡市教育委員会	平成27年2月	
54	観音堂・百庚申	白岡市教育委員会	令和4年3月	
55	新堀と黒沼用水路の立体交差	白岡市観光協会	平成29年10月	地図付
56	岡泉鷲神社	白岡市教育委員会	平成10年2月	
57	黒沼用水路沼と三ヶ村落堀の立体交差	白岡市観光協会	平成31年2月	地図付

令和2年3月19日

白岡市教育委員会告示第8号

白岡市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱

(設置)

第1条 文化財保護法（昭和25年法律第214号）第183条の3の規定に基づく白岡市文化財保存活用地域計画（以下「計画」という。）の策定に当たり、必要な事項を検討するため、同法第183条の9の規定に基づき、白岡市文化財保存活用地域計画策定協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の作成及び変更に関すること。
- (2) 認定を受けた計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (3) その他計画に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、白岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 文化財の所有者
- (2) 文化財に関係する機関・団体の代表者
- (3) 歴史及び文化財に関し識見を有する者
- (4) 商工に関係する機関・団体の代表者
- (5) 観光に関係する機関・団体の代表者
- (6) 埼玉県職員
- (7) 白岡市職員
- (8) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、会長はその議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(関係者の出席要請)

第7条 会長は、所掌事項に関し必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、教育部生涯学習課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

附 則（令和5年3月14日教委告示第1号）

この告示は、令和5年4月1日から施行する。

●第2期白岡市文化財保存活用地域計画（案）に対するパブリックコメント

- 1 実施期間：令和8年1月14日（水）から2月14日（土）まで
- 2 公開資料：第2期白岡市文化財保存活用地域計画（案）
- 3 資料配布・閲覧場所：白岡市役所仮設本庁舎、白岡市生涯学習センター、白岡市中央公民館、白岡市保健福祉総合センター、白岡市コミュニティセンター、白岡市公式ホームページ
- 4 意見提出方法：郵送、電子メール、公式ホームページ上お問合せフォーム、持参
- 5 実施結果：意見提出者6名
- 6 内訳：下表の通り

番号	意見概要	該当項目	白岡市の考え方
1	学校との連携の点ですが、歴史学習支援事業は生徒の印象に深く残る学習効果の高い体験学習であると考えます。扱い方によって、中世、近世、近代、戦時中、戦後、歴史外でも地理、民俗とさまざまな学習が可能かと思えます。 私自身は実物に触れることはデジタルにはわからないことを感じる上で非常に重要であり、生徒の興味関心を引き出したり、ひいては文化財の大切さに気づく大切な機会であると考えます。また、身近に文化財という地域の宝がありふれていることを知ること自体が大切なのではないかと思います。しかし、現実には十分な活用がなされていないのだと思います。 「歴史学習支援事業」の活用があまり活発でない状況は、各学校に働きかけて教育計画のなかみに組み込んでもらえると理想的です。 改善案として、授業のイメージプランを複数、過去の出張授業の写真とともにまとめて、年度当初に各学校の社会科主任、生活科主任、総合主任などに配ると良いかもしれません。 実物に触ったり、体験ができることを伝えられると良いと思います。特に小学校は話よりも、体験が重要です。 各学校の管理職や社会科担当の教員との交流も生かし、3・4年生の地域学習にもおおいに文化財活用をはかってもらおうと良いです。	第4章2(4)⑤学校教育との連携	学校教育との連携につきましては、歴史学習支援事業の実施校からは、大変好評をいただいている反面、活用の広がりが進まないのが現状です。取組の更なる強化を行うとともに、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「40 学校と連携した教材研究の促進」で挙げましたように、教職員との協働を目指すとともに、教職員との連携を図りながら、文化財を活用した地域学習に資する教材研究を促進します。
2	もっと写真を掲載するとともに個別資料の詳細な解説を加えて欲しいです。 白岡市の文化財保存活用推進体制の「市民（民間団体と個人）」について篠津の山車保存会・篠津お囃子保存会・柴山お囃子保存会・白岡お囃子保存会・高岩お囃子保存会・岡泉の山車保存会が存在しませんか？存在しませんか？	第9章2①白岡市の文化財保存活用推進体制	写真の掲載と個別資料の内容につきましては、地域計画本文に合わせて必要なもののみを掲載しております。個別資料の写真や内容の詳細につきましては、教育委員会発行の図録等に掲載しております。今後も「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「38 普及用刊行物の計画的発行」に基づき、図録等の継続発行を目指します。 市内全ての保存団体を記述するものではなく、特に地域計画内の関連文化財群に係る団体について挙げております。他の保存団体につきましては「文化財所有者（管理者）」として把握しております。
3	観光協会が実施するイベントの内、「白岡めぐり」とかJR東日本に協力して行う「駅からハイキング」では、その対象文化財に「白岡遺産」と冠を付けることは大変PR効果があります。特に、市外の人々が対象である「駅からハイキング」では、白岡市を外部の人々に理解してもらうためには、この冠は絶大な効果があります。 この「白岡遺産」の認定は、教育委員会の文化財保護審議会ではなく「白岡市文化財保存活用市民会議」が出来るわけで、今後も観光協会としてはこの「白岡遺産」を増やして頂き活用させて頂きたいと思っています。 そして、この「市民会議」の後ろ盾になって居るのが「白岡市文化財保存活用地域計画」です。従って、この「地域計画」が白岡の文化財を保存し街づくりの為に必要な活動である事を白岡市民の多くの方々に理解してもらうためにも、今まで以上にましてその活動を活発にしていける必要があると思います。	第5章2(2)「白岡遺産」制度と白岡遺産保存活用市民会議の役割	観光協会やJR東日本実施のイベントの中で「白岡遺産」をPRしていただいていることは、地域計画の趣旨に則っており、有意義なことであります。今後も「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「52 文化財周遊コースの設定」や「53 周遊コースのセルフガイドの発行」に基づき、市としても文化財周遊に関して検討を進めてまいります。

番号	意見概要	該当項目	白岡市の考え方
4	全編に渡り、詳しくわかりやすくまとめてあって読みやすかったです。中身が充実していて読み応えがあり、勉強になりました。 すばらしい白岡の文化財を、もっと知ってもらい必要があると感じました。そのため、多くの人に読んでもらうためには、「要旨」、「レジュメ」等が用意されていたらより多くの声が聞けて効果的だと思います。 課題分析が明確化されている。今後、だが、いつ、どのように課題解決していくのか、対策を実行推進していくを明らかにしていけたらと考えます。今後に期待したいです。 白岡遺産保存活用市民会議が市観光協会や商工会と連携すること、情報発信などのまちづくりや地域おこしに資するような組織になれることを大いに期待したいです。 市民学芸員の養成・ちょボラの活用は、後継者の育成にもつながる重要な機会ととらえ力をいれていく必要があると考えます。 年何回かの養成講座を実施したり、学校および各地域に出前講座をおこない、理解と親睦を深め、理解者の充実が図れたらすばらしいと思います。	第5章2(2)「白岡遺産」制度と白岡遺産保存活用市民会議の役割 第6章1(2)(3)⑤文化財ボランティア組織が立ち上がっていない	地域計画の要旨や文化財情報の発信につきましては、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「40 普及用刊行物の計画的発行」や「53 周遊コースのセルフガイドの発行」で挙げましたように、普及用刊行物やセルフガイドブック等を継続して発行してまいります。 6・7ページ「第1期計画の評価」で触れましたとおり、ボランティアの育成は課題であると認識しております。今後、白岡遺産保存活用市民会議との協働の中で、着手してまいります。
5	①モノに痕跡を残さない文化遺産 コロナがほぼ終息状態になり2～3年になります。 白岡市の中でもコロナは猛威を振るっていました。病院は検査のため多くに人があふれ学校や会社も休みになり、商売も成り立たなくなりました。寺院では、まじないや祈祷的な催し物も行われました。しかし、今後数年でこの記憶もなくなっていくのではないかと考えられます。記憶に残る今だからできる10～20年後の市民のための「コロナの流行下の白岡市」という視点だと思います。 ②AIの活用 近年ChatGPTなどAIが注目を集めています。白岡遺産の活用はこのAIが利用できるのではないのでしょうか。 例えば、新井白石の肖像画から新井白石を飛び出させたり、白黒の写真をカラー化したり、川の立体交差に舟を浮かべてみたり、白岡駅に機関車を走らせてみたりなど動画の合成ができるのではないのでしょうか。ほかにも白岡市で発掘された土器を実際に利用している風景の合成動画なども考えられます。縄文人が煮炊きをしている様子など、興味がつきないと思います。 このようなAIの利用が文化遺産の活用役に役立つのではないかと思います。また、この分野は進歩が速いので早めの着手がよいと思います。	第6章2基本方針1文化財を調べる～各分野の文化財調査～ 第6章2基本方針3文化財を知る～情報発信・普及活動～	①につきましては、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「6 暮らしの中の文化財調査」に基づき、コロナ禍関係の新聞やモノ資料の収集を進めております。歴史的事象として後世に伝えていくためにも、引き続き、資料収集に努めてまいります。 ②につきましては、令和7年8月開催のハンズ・オン・デイ「写真で見る白岡の昭和百年」において、昭和の白黒写真とAIソフトを通してカラー写真に変換したものをスライドショーにして画面に映し、来館者に見ていただきました。引き続き、多方面でAIの文化財普及への活用について検討してまいります。
6	①表紙と副題への期待 第1期では、表紙に、白石画像、さら、神山遺跡の金銅仏、前田遺跡のミミズク土偶と、副題でもスローガンの「地域の文化財を地域の手で守る」が掲げられ、序章にもありましたように、市民や地域などの多様な主体が指定・未指定の区別なく総合的に把握する姿勢がよく表れている、そのような印象をうけました。 第2期(案)の時点では、表紙はまだ公開されていませんが、冊子を手にとっただけでも、計画の目標や白岡の「水とともにあった人々の暮らし」を感じ取れるようなものを、楽しみに待ちたいと思います。 ②未指定のリスト 第2期では、確認された未指定の文化財のうち、古文書、考古資料、有形民俗文化財が大変増加した印象を受けました。文化財担当の方と市民の皆さまのご尽力のことと思い、感謝申し上げます。ただ、どのような文化財が確認されているのか、「白岡遺産」の参考ともなりますから、管理者等への十分な配慮とともに、別紙で一覧表のようなものが欲しいものです。	第2章1(2)未指定文化財の概要 第5章1(2)白岡市における文化財保存・活用の将来像の設定と共有	①につきましては、本計画が、第1期計画を継承したものである点を踏まえ、表紙や副題についても検討してまいります。 ②につきましては、未指定文化財の内容について、可能な限り本文中で触れさせていただきます。